

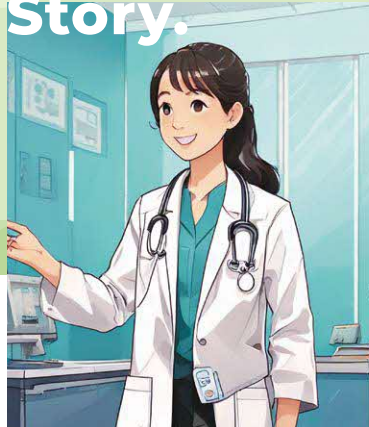
YAMAGUCHI 2026

臨床研修・専門研修

ガイドブック

山口ではじめる、

My Medical Story.



自分を信じて、歩き出そう!

山口ではじめる、

My Medical Story.



この努力が、明日の自信になる。

山口ではじめる、

My Medical Story.



山口の夏、関門花火と、最高の同期たちと。

山口ではじめる、

My Medical Story.



休日、お気に入りのカフェでひと休み…

山口ではじめる、

My Medical Story.



同じ道を歩く仲間がいるって、心強い!

山口ではじめる、

My Medical Story.



この日々が、きっと私を強くする。

山口ではじめる、

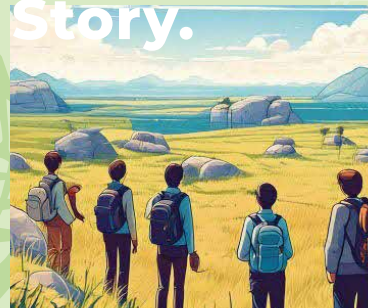
My Medical Story.



山口県

山口ではじめる、

My Medical Story.





山口ではじめる、

My Medical Story.

山口県では15の基幹型臨床研修病院をはじめ、協力型臨床研修病院や研修協力施設において、次の **4つのポリシー** を共有しながら研修を行っています。

Policy

01

プライマリ・ケアの基本的な診療能力の習得、ならびに医師としての人格の涵養を通じて、

研修医の皆さんを
将来の医療の担い手として育成します。

Policy

02

研修医の皆さんと
ともに質の高い医療を
追求し、山口の地域
医療を守ります。

Contents

- 2 15の基幹型臨床研修病院
- 19 当直レポート
- 21 31の専門研修プログラム
- 23 各プログラム基幹施設における身分および処遇
- 56 特集 山口県で専門医になろう！
- 58 山口県の取り組み
- 60 山口県の紹介



これを見れば、臨床研修から専門医取得まで、
山口県内での **一貫したキャリア形成** がイメージできるはず。

Policy

03

研修医の皆さんの
声を聴き、柔軟な
研修プログラムを
実施します。

Policy

04

後期研修も見据えた
キャリア形成を
サポートします。

山口県 15 の



同じ道を歩く仲間がいるって、心強い!

1

国立病院機構

岩国医療センター

P.4



〒740-8510
岩国市愛宕町1-1-1

TEL0827
34-1000



<https://iwakuni.hosp.go.jp>

2

山口県厚生農業協同組合連合会
周東総合病院

P.5



〒742-0032
柳井市古開作
1000-1
TEL0820
22-3456



<https://shuto-hp.jp>

3

地域医療機能推進機構
徳山中央病院

P.6



〒745-8522
周南市孝田町1-1

TEL0834
28-4411



<https://tokuyama.jcho.go.jp>

4

山口県立
総合医療センター

P.7



〒747-8511
防府市大字大崎
10077
TEL0835
22-4411



<https://www.ymgph.jp>

5

山口県済生会
山口総合病院

P.8



〒753-8517
山口市緑町2-11

TEL083
901-6111



<http://www.yamaguchi-saiseikai.jp>

6

総合病院
山口赤十字病院

P.9



〒753-8519
山口市八幡馬場53-1
TEL083
923-0111



<http://www.yamaguchi-redcross.jp>

7

山口県厚生農業協同組合連合会
小郡第一総合病院

P.10



〒754-0002
山口市小郡下郷
862-3

TEL083
972-0333



<http://www.ogoridaiichi.jp>

臨床研修病院



8

山口大学 医学部附属病院

..... P.11



〒755-8505
宇部市南小串1-1-1
TEL0836
22-2129



<https://www.yamaguchi-u.ac.jp/hosp/>

9

医療法人社団 宇部中央病院

..... P.12



〒755-0151
宇部市大字西岐波
750
TEL0836
51-9286



<https://www.ube-hp.or.jp>

臨床研修病院

10

医療生活協同組合健文会 宇部協立病院

..... P.13



〒755-0005
宇部市五十目山町
16-23
TEL0836
33-6111



<https://mcoop-kenbun.jp>

11

労働者健康安全機構 山口労災病院

..... P.14



〒756-0095
山陽小野田市大字
小野田1315-4
TEL0836
83-2881



<https://www.yamaguchih.johas.go.jp>

12

地域医療機能推進機構 下関医療センター

..... P.15



〒750-0061
下関市上新地町
3-3-8
TEL083
231-5811



<https://shimonoseki.jcho.go.jp>

13

国立病院機構 関門医療センター

..... P.16



〒752-8510
下関市長府外浦町1-1
TEL083
241-1199



<https://kanmon.hosp.go.jp>

14

山口県済生会 下関総合病院

..... P.17



〒759-6603
下関市安岡町8-5-1
TEL083
262-2300



<https://www.simo.saiseikai.or.jp>

15

地方独立行政法人 下関市立市民病院

..... P.18



〒750-8520
下関市向洋町1-13-1
TEL083
231-4111



<https://shimonosekicity-hosp.jp>

独立行政法人 国立病院機構

岩国医療センター

所在 〒740-8510 山口県岩国市愛宕町1-1-1

山口県東部唯一の救命救急センターを有し、年間約2万人の救急患者に対応。疾患については二次医療圏で唯一、循環器科と心血管外科を併せ持つ医療機関として高度診療にあたっています。地域周産期母子医療センターに加え、山口県中・東部および広島県西部地域唯一のNICUを有する施設で、広域を対象に新生児重症救急患者の診療を担当しています。

募集人数 **12名** 病床数 **484床**

(令和8年度 採用予定人数)

待遇 給与1年目：約422,000円/月
給与2年目：約422,000円/月



研修プログラムの特徴

一般内科医の養成と、将来内科系あるいは外科系の専門診療科を専攻しようとする人に対して、基本的に有すべき知識や技能と態度を習得することができる研修プログラムです。プライマリ・ケアが十分に実行できる医師を養成するとともに、以後の専門領域研修のための基礎を築くことを目的としています。

研修スケジュール例

1年目	内 6カ月	救 2カ月	選 2カ月	外 1カ月	麻 1カ月
内…内科、救…救急、選…希望する診療科を選択、外…外科、麻…麻酔科					
2年目	小 1カ月	産 1カ月	精 1カ月	地 1カ月	選 8カ月
小…小児科、産…産婦人科、精…精神科、地…地域医療、選…希望する診療科を選択					

関連病院 等

- ・ 広島西医療センター
- ・ 柳井医療センター
- ・ いいいケア・クリニック
- ・ 山口大学医学部附属病院精神科
- ・ JA広島総合病院
- ・ 恵愛会柳井病院 ほか

主な勉強会

- 研修医勉強会〈毎週1回〉
- 内科CPC〈隔月〉
- 院内感染症勉強会〈毎月1回〉

指導医

[消化器内科]

藤本 剛 医師



Q 山口県の研修病院としての良さは何だと思いますか。
都市部の大病院にはない「ちょうどよいサイズの病院」が点在しています。どの病院も魅力的で初期研修には最適だと思います。

Q 山口県に住んでいて感じる魅力を教えてください。
気候は温暖で住みやすく、そこに暮らす人達は温厚です。車でちょっと走ればきれいな海や緑豊かな山があります。食事もおいしく、地酒もたくさんあり居住環境は最高です。

Q 指導において心掛けていることは？
目の前の患者さんの「病気」を診るだけではなく、「病気を患った人」を診ることが大事だと思います。そして何故そうなのか？と常に疑問を抱き「リサーチマインド」を養うような指導を心掛けています。

Q 医学生へのメッセージ
当院は実践中心の病院です。実際に手を出して考えることができる病院です。多くの症例を経験して立派な臨床医になってください。

研修医

研修医2年目[山口大学出身]

谷 美沙紀 医師



Q 研修先病院として選んだ理由は？
見学に行った際に、コメディカルの方々や先生方がとても優しく、雰囲気も素敵な病院だと思ったからです。

Q この病院を選んでよかったことは？
周りの方々に恵まれたことがよかったと思います。また、米軍基地からの患者さんや軽症から重症まで多くの背景を持った方のファーストタッチができることがよかったです。

Q 研修で最も身についたことは？
まだまだできていないことの方が遥かに多いですが、救急にいられた方の鑑別・初期対応・治療方針を考えられるようになったと思います。

Q 医学生へメッセージ
当院は様々な手技や症例を研修医が主体となって経験できる病院だと思います。興味がある方はぜひ一度病院見学にいらしてください。



お問い合わせ先

担当部署：管理課 | 担当者：白石 彩夏 | 電話：0827-34-1000
Eメール：513-sy01@mail.hosp.go.jp

周東総合病院

所在 〒742-0032 山口県柳井市古開作1000-1

波静かな瀬戸内海を望み、緑の山々に囲まれた風光明媚な丘陵に立地。柳井医療圏唯一の二次救急指定病院で臨床研修指定病院、災害拠点病院、がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院でもあります。急性期病院として救急患者や紹介患者を積極的に受け入れ、地域の介護・在宅医療への取り組みも進み、地域の医療・介護・福祉との連携が非常に良好なことも強みの一つです。

募集人数 **3名** 病床数 **328床**

(令和8年度 採用予定人数)

待遇 給与1年目: 500,000円/月
給与2年目: 600,000円/月

臨床研修病院

研修プログラムの特徴

医療圏で唯一の総合病院であることから、地域に密着した診療を行うことを重視しており、多彩な症例があります。最新の診断装置も整備し、初診→診断→治療を通して経験できます。また3名枠の研修医であるため、臨機応変にプログラムの対応が可能な点もメリットとして挙げられます。

研修スケジュール例

1 年 目	内 24週	救 12週	外 4週	小 4週	産 4週	精 4週
	内…内科、救…救急、外…外科、小…小児科、産…産婦人科、精…精神科					
2 年 目	地 4週	選 48週				
	地…地域医療、選…選択科					

関連病院 等

- ・ 恵愛会柳井病院
- ・ 光輝病院
- ・ 山口大学医学部附属病院
- ・ 周防大島町立大島病院
- ・ 長門総合病院
- ・ 岩国医療センター ほか

主な勉強会

柳井内科医会、周南医学会、山口県農村医学会、全国農村医学会、BLS、ACLS、院内の研修会・事例検討会 など

プログラム [外科]
責任者 瀬山 厚司 院長研修医 研修2年目[山口大学出身]
竹本 匠 医師

Q 当院の研修病院としての良さはどんな点ですか?
日本有数の高齢化地域にありますので地域に密着した高齢者医療を研修できることが特色だと思います。都市部も今後更に高齢化が進むわけで、当院では時代の先を行く研修ができると思います。

Q どんな指導を心掛けていますか?
これまでの学生感覚を捨て、職業として一生この仕事を続け、自分や家族を支える糧を得るというプロ意識を持つよう指導しています。

Q 山口県の良さはどこに感じますか?
瀬戸内の温暖な気候と美味しい食べ物は魅力的です。

Q 医学生へのメッセージ
自分と同じ境遇や価値観を持った先輩の意見が最も参考になります。

Q 研修先病院として選んだ理由は?
病院見学に来た際に研修医の先輩から多くの執刀を経験できるというお話を聞き、自分も早いうちから外科医としてのキャリアを築きたいと考え、当院での研修を志望しました。また、緊急医師確保対策枠で入学しており、研修指定病院のなかで過疎地域に認定されている病院は周東総合病院だけということも志望した理由の一つです。

Q 研修病院としての特色を教えてください。
病床数に対する研修医の数が少ないため、多くの研修医基本手技(CV確保・挿管など)を経験できます。また、上級医の先生とのマンツーマンの手厚い指導の下で診察、検査、診断、その後の方針まで研修医が主体性をもって診療に取り組むことができます。

Q この病院を選んでよかったことは?
当院は自分の積極性次第で、どんなことにでも挑戦させてもらえる研修病院だと思います。また、総合診療科の先生方が中心となって症例に対する勉強会、抄読会を開いてくださっています。研修医の数が少ないので、どの科の先生方も熱心に指導してくださり、充実した研修生活をおくれます。

Q 医学生へのメッセージ
当院は他の研修病院と比べて人数が少ないですが、その分多くの症例や基本的手技を学ぶことができます。周防大島や徳山、岩国、広島も近く、遊びにも苦労しません。是非一度病院に見学に来てみてください。



お問い合わせ先

担当部署: 総務課 | 担当者: 藤川 誠 | 電話: 0820-22-3456
Eメール: m.fujikawa@hsp-shuto.jp

3 独立行政法人 地域医療機能推進機構 徳山中央病院

所在 〒745-8522 山口県周南市孝田町1-1

山口県東部3市、約25万人を診療圏とする地域最大の基幹病院として、1次から3次救急まで対応する急性期医療を担っています。入院・外来・救急患者とも非常に多いことから各研修医が多様な症例を経験でき、密度の高い研修を受けることができます。外科系の手術、内科の心カテ、PCI、内視鏡の検査・治療件数においても県内最多施設の1つです。

募集人数 **18名** 病床数 **519床**

(令和8年度 採用予定人数)

待遇 給与1年目：460,800円/月
給与2年目：497,920円/月



研修プログラムの特徴

1年目の救急研修では救急部の他に、各診療科の特徴的な救急疾患についても講義・実習を行います。また2年間を通して救急部及び各科専門医の下で救急研修を実施し、高い診療能力が身につきます。2年目は基本的診療能力の習得のほか、高度な専門的医療の現場で学べるよう、将来専門とする診療科の研修を約10カ月間設定しています。

研修スケジュール例

1年目	救 8週	麻 4週	内 24週	外 4週	産 4週	小 4週	精 4週
救…救急、麻…麻酔科、内…内科、外…外科、産…産婦人科、小…小児科、精…精神科							
2年目	地 5週	選 約10カ月					
地…地域医療、選…自由選択科							

関連病院 等

- ・愛命会泉原病院
- ・周南市立新南陽市民病院
- ・山口大学医学部附属病院
- ・山口宇部医療センター
- ・秋市民病院
- ・周防大島町立大島病院 ほか

主な勉強会

救急外来モーニングカンファレンス〈毎朝〉、
救急ケースカンファレンス〈週1回〉、
院内ICLS講習会
(日本救急医学会認定コース)

プログラム [臨床検査科]
責任者 **宮原 誠 医師**



- Q 当院の研修病院としての良さはどんな点ですか？**
地域の基幹病院であるため、救急・外来・入院患者とも非常に多く、各研修医が豊富な症例を経験でき、密度の高い研修を受けることができます。各科の垣根は低く連携が取れており、また研修医同士の仲が非常に良いのも当院の魅力です。
- Q 研修内容のセールスポイントは？**
各個人に見合った研修が組めるようプログラムに柔軟性を持たせており、指導医と研修医のマンツーマン方式を基本としております。医師のみならず全職員が病院を挙げてサポートしています。
- Q 指導において心掛けているのは？**
ただ単にパターンで覚えるのではなく、基本に立ち返り、『なぜそうなのか』の“なぜ？”を常に意識するよう指導しています。
- Q 医学生へのメッセージ**
当院で医療の専門的技術や知識を習得すると共に、“こころ”に寄り添う医療をぜひ我々とともに学んでいきましょう。とてもやりがいのある病院ですよ。

研修医2年目[山口大学出身]
研修医 **西村 遼河 医師**



- Q 研修先病院として選んだ理由は？**
徳中を選んだのは、毎朝の救外カンファレンスや心強い上級医の存在など手厚いバックアップの下、多様で豊富な症例を最前線で経験することができるからです。
- Q この病院を選んで良かったことは？**
救外当直や日々の診療に加えて、定期的に行われるカンファレンスやレクチャーなどフィードバックを得られる機会も多く、臨床で大切な知識や考え方、技術をしっかりと習得できる点です。
- Q 研修で最も身についたことは？**
一人ひとりの患者さんについて、問題点を適切に評価・解決するために自ら考える力です。
- Q 医学生へのメッセージ**
たくさんの同期や上級の先生方に支えられながら日々臨床研修に向き合っています。より実践的な医療を身に付けたい方はぜひ徳中へ！徳山、とてもいい街ですよ！



お問い合わせ先

担当部署：総務企画課 | 担当者：勝津 広大 | 電話：0834-28-4411
Eメール：main@tokuyama.jcho.go.jp

4 山口県立 総合医療センター

所在 〒747-8511 山口県防府市大字大崎10077

当院は防府市にある総合病院であり、救命救急センターでは一次から三次までの救急患者を多く受け入れるとともに、地域がん診療拠点病院としてがん診療を積極的に推進。総合周産期母子医療センターにおいては県内全域から搬送されるハイリスク妊婦・新生児に対応。他に基幹災害拠点病院、感染症指定医療機関としての危機管理や対応訓練も定期的に行っています。

募集人数 **13名** 病床数 **504床**

(令和8年度 採用予定人数)

待遇 給与1年目: 520,000円/月
給与2年目: 570,000円/月



研修プログラムの特徴

医師としての人格を涵養し、将来の専門性にかかわらず、医学・医療の社会的ニーズを認識しながら日常診療での病気や病態に適切に対応できるようプライマリ・ケアの基本的な診療能力(態度・技能・知識)を身につけることが研修目標。各科の垣根がなく指導医とマンツーマンで患者を担当し、多くのことが学べる体制が整っています。

研修スケジュール例

1年目	内 24週	外 4週	外科系 4週	小 4週	救 8週	精 4週	産 4週
	内…内科、外…外科、小…小児科、救…救急(麻酔含む)、精…精神科、産…産婦人科 外科系…1年目の外科系1ヶ月は、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科の6科から選択。						
2年目	選 4週	地 4週	選 40週				選※ 4週

地…地域医療、選…選択科 ※未達成の診療科

関連病院 等

- ・ 山口県立こころの医療センター
- ・ 山口大学医学部附属病院
- ・ 下関市立豊田中央病院
- ・ 周防大島町立東和病院
- ・ 川上診療所 ほか

主な勉強会

- 救急疾患の初期治療講習会
(5月～8月に10回)
- 症例検討会(CPC)の実施(毎月)
- 基礎セミナーの実施(毎月)
- 総合内科カンファレンス(4回)

プログラム
責任者 **福迫 俊弘** 医師



研修医2年目[神戸大学出身]
研修医 **太田 侑吾** 医師



- Q 当院の自慢は?**
指導医の綿密でレベルの高い辛抱強い指導が特徴です。結果だけを捉えるのではなく、そのプロセスを重視した指導を心がけています。
- Q 研修内容のセールスポイントは?**
救命救急センターで数多くの患者のfirst touchを経験することができます。診療には指導医によるチェックが必ず行われており、また各科のバックアップにより、ミスの少ない高レベルの研修を行えます。
- Q どんな指導を心掛けていますか?**
綿密、丁寧、辛抱強く高レベルな指導を心がけています。主訴、病歴、所見から病態及び部位を推定し、治療を行い、退院後の家庭環境などにも配慮した患者さんのためになる研修の指導を目指しています。
- Q 医学生へのメッセージ**
経験豊富な指導医だけでなく、患者さんのことを考えた多職種による介入により、満足度の高い医療を提供しています。

- Q 研修先病院として選んだ理由は?**
医学生として実習をしていた際に、当時の研修医の先生がとても優秀で、私はその先生に憧れ県総を選びました。研修医の同期の数が多い点も私にとっては魅力的でした。
- Q この病院を選んでよかったことは?**
指導医の先生方やコメディカルの方々はもれなく優しく、また親身になって指導していただけます。学ぶ環境としては非の打ち所がありません。ロケーションも良く、防府のまちは落ち着いており、暮らしやすい環境です。高速道路へのアクセスは抜群で、休日には気軽に遠出することができます。
- Q 研修で最も身についたことは?**
医学的な知識や技術的な面だけでなく、的確なアセスメント力を身につけることができます。自ら提案したことについて指導医からフィードバックをいただいたり、患者さんの経過を追ったりすることで、日々の成長を実感しています。
- Q 医学生へのメッセージ**
志望科がどこであっても県総では有意義な研修ができます。内科系のイメージが強いかもしれませんが、外科系も充実しています。もちろん志望科に迷っている学生にもおすすめです。まずは病院見学だけでも参加してみて、当院の雰囲気を感じていただくと良いと思います。



お問い合わせ先

担当部署: 総務課 | マッチング担当者: 藤井 柊哉 | 電話: 0835-22-4411
Eメール: soumuka@ymghp.jp

山口県済生会 山口総合病院

所在 〒753-8517 山口県山口市緑町2-11

高度急性期・専門医療を通じ、二次救急を担う地域医療支援病院として山口市の地域医療を支える中核的な役割を果たしています。研修では1つの研修診療科に1人の研修医を割り当てるマンツーマン研修と、研修医の希望に沿ったカリキュラムが特徴。選択科目が自由に選べ、希望する研修を重点的に受けられるように変えることが出来ます。

募集人数 **6名** **病床数** **279床**
(令和8年度 採用予定人数)

待遇 給与1年目：400,000円/月(日当直手当含む)
 給与2年目：430,000円/月(日当直手当含む)
 賞与2回(夏期・年末)

研修プログラムの特徴

急性期医療を担う当院と、老人性認知症を中心に精神科を診療する仁保病院、小児科・産婦人科を担当する山口赤十字病院及び近隣の社会福祉施設や開業医で研修を行うプログラムとなっています。各機関が効率的に連携している中での研修によって、地域連携や職員間の連携などを身につけることが可能です。

研修スケジュール例

1年目	救 4週	内 30週	外 5週	麻 5週	放 4週	選 4週
2年目	地 8週	一 4週	精 4週	産 4週	小 4週	選 32週

※救急部門研修を行う際、麻酔科、放射線科で学ぶ手技が必要となることもあるため、選択科ですが1年目より、麻酔科と放射線科を当初よりプログラムに組み込んでいます。

救…救急、内…内科、外…外科、麻…麻酔科、放…放射線科、選…選択科
 地…地域医療、一…一般外来、精…精神科、産…産婦人科、小…小児科



関連病院 等

- ・ 山口大学医学部附属病院
- ・ 仁保病院
- ・ 小郡第一総合病院
- ・ 山口赤十字病院
- ・ 長門総合病院
- ・ 済生会山口地域ケアセンター
- ・ 周防大島町立大島病院
- ・ 下関市立豊田中央病院
- ・ 美祢市立病院
- ・ 美祢市立美東病院
- ・ 岩国市立錦中央医院

主な勉強会

- 研修医による勉強会(月1～2回)
- ICLS講習会(年1回)
- CPC(年1回)
- 各診療科カンファレンス(週1回)

指導医

[泌尿器科部長]

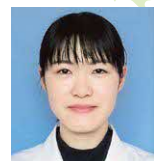
大場 一生 医師



研修医

研修医2年目[山口大学出身]

山崎 綾乃 医師



当院の自慢は？

当院は山口市の中核病院でかつ萩・益田方面の患者さんも数多く受入れている2次救急病院です。症例数も豊富ですが、各科の垣根が低く、アットホームなところが最大の特徴です。



研修内容のセールスポイントは？

基本的に各科1人ずつ研修していただきますので、マンツーマンできめ細やかな指導を行います。そのため実践的な手技や処置も早期に修得できると思います。また各科の垣根が低いので、困った症例をストレスなく相談できます。



指導において心掛けているのは？

“医師の心”をはぐくむことが大切です。研修医と共に指導する側も一緒に研鑽して参ります。



医学生へのメッセージ

“よく学び、よく遊ぶ” 山口市は自然豊かで、空気もきれいなので、スポーツをするには最適な環境です。充実した研修プログラムと共に有意義な2年間の研修生活を送りましょう。



研修先病院として選んだ理由は？

病院見学の際に医師や看護師さん含め多職種同士の会話や交流が多いと感じました。当院なら充実した研修だけでなく、楽しみながら2年間を過ごすことができると考え、当院を希望させていただきました。



この病院を選んでよかったことは？

先生方は勿論、看護師さんを含め他職種の方々も優しく、手厚く指導してくださるので失敗を恐れず沢山チャレンジをすることができています。そして入職時と比較して成長を実感しております。また、休日にはイベントに誘っていただき充実した毎日を過ごしています。



研修で最も身についたことは？

患者さんとの会話や観察など診察を通して状態や経過を判断することを学びました。初めは課題点も多かったですが、先生方にご指導いただきながら繰り返していき徐々にできるようになりました。また、患者さんを多職種同士が連携して多角的にケアしていくことも学びました。



医学生へのメッセージ

当院は研修医1学年6人の少数体制で、科の研修中には指導医の先生方・症例を独り占めすることができます。また、先生方だけでなく他職種の方々とも沢山交流することができ、充実した2年間を過ごすことができます。是非一度「やまさい」に見学に来てください！



お問い合わせ先

担当者：網永 英彦 | 電話：083-901-6405(直通)/6111(代表)
 Eメール：kikaku-pr@ymg-saiseikai.jp

山口赤十字病院

所在 〒753-8519 山口県山口市八幡馬場53-1

山口県中部の基幹病院として地域医療に従事し、急性期を主体とした総合病院としての機能に加え、地域周産期母子医療センター、小児救急医療拠点病院として産科、小児科医療を実施しています。また、赤十字としての救護活動にも注力。多数の認定施設で専門的な知識、技術が習得可能です。

募集人数 **6名** 病床数 **377床**

(令和8年度 採用予定人数)

待遇 給与1年目：430,000円/月（日当直手当含む）
給与2年目：460,000円/月（日当直手当含む）
賞与2回（夏季・冬季）

研修プログラムの特徴

当院は山口県・県北の基幹病院として2次医療圏に属しています。柔軟にプログラムが作成でき、各診療科ローテーションが可能。Common disease等、多数の症例を経験できます。糖尿病サポートチーム、栄養サポートチーム（NST）、院内感染防止（ICT）チームなどのチーム医療にも力を入れています。

研修スケジュール例

1年目	内 24週	救 12週※	外 8週	小 8週
	内…内科、救…救急部門、外…外科、小…小児科			
2年目	産 8週	精 4週	地 4週	選 36週
	産…産婦人科、精…精神科、地…地域医療、選…選択科目研修			

※救急部門は救急外来所属で、内科系・外科系・小児科のそれぞれの医師の指導のもと行う。

また、救急部門の12週のうち、4週は麻酔科研修とする。

※外科、小児科、産婦人科、精神科は4週～8週 ※地域医療研修は、2年目に4週～8週

関連病院 等

- ・ 山口大学医学部附属病院
- ・ 宇部協立病院
- ・ 日本赤十字社和歌山医療センター
- ・ 山口県立総合医療センター
- ・ 関門医療センター
- ・ 下関市立市民病院 ほか

主な勉強会

ICLS講習会、BLS講習会、CPC（臨床病理検討会）〈年1回〉、金曜早朝講義、呼吸器セミナー、内科セミナー、消化器合同カンファレンス、抄読会〈定期的〉、その他各科症例検討会あり

指導医
(プログラム責任者)[内視鏡外科部長]
山中 直樹 医師

研修医

研修2年目 [九州大学出身]
川井田 悠史 医師

Q 当院の自慢は？

総合病院として内科や外科をはじめ多岐にわたる分野での専門的な指導医が在籍しています。産科小児科領域では地域周産期センター・小児夜間急病センターを有しており、山口圏域での周産期医療で重要な役割を担っています。また、赤十字病院としての特性である災害医療も積極的に活動しています。

Q 研修内容のセールスポイントは？

各診療科の垣根が低く、他科へ気軽にコンサルトや相談ができ、各診療科にまたがって診療ができます。市中病院のためCommon diseaseから希少な難病・特定疾患までバランスよく豊富な症例を経験可能です。研修途中でも希望があれば、柔軟に研修プログラムが変更可能です。

Q どんな指導を心掛けていますか？

基本的に診療科に1人が配属される体制にしており、研修医各々の習熟度に応じてマンツーマンに指導しています。救急の場では主体的に診療に当たってもらい、上級医から必ずフィードバックを受けていただきます。

Q 医学生へのメッセージ

当院は医療スタッフに恵まれており、自分のペースで研修ができます。病院周辺も風情ある街並みで、きっと楽しい研修生活が送れますよ。

Q 研修先病院として選んだ理由は？

初期臨床研修において必修としてローテーションするほとんどの科を院内で終わられるという点です。精神科と地域医療以外は、当院で完結することができます。その分、2年目に自分が希望する科を大学病院などの外病院で研修可能です。自由にローテーションを選択できる期間が長いことは、3年目以降の進路を考える点においても大きなアドバンテージです。

Q この病院を選んだよかったことは？

研修のしやすさです。当院の研修では、外来や病棟、救急の場面において、自分がしてみたいと思ったことは大概何でもさせてもらえます。また、上級医の先生方に限らず、経験ある病棟スタッフも研修医に対して親身になって教えてください。

Q 研修で最も身についたことは？

救急での初期対応について学ぶことができます。特に当直は上級医の先生と一緒に行動するため、不安になることなく初期対応を実践できます。

Q 医学生へのメッセージ

これら以外にも、当院の魅力はまだあります。もし、お時間あればぜひ一度見学に来てください。研修医一同お待ちしております。



お問い合わせ先

担当部署：人事課 | 担当者：塩塚 優大 | 電話：083-923-0111
Eメール：jinnji@yamaguchi-med.jrc.or.jp

小郡第一総合病院

所在 〒754-0002 山口県山口市小郡下郷862-3

山口県中央部における地域中核病院として総合病院の機能を有しながら、国内外から研修医が集まる整形外科を有しております。外国人医師は常時2名おり、日常的に英語にふれることができます。二次救急病院として積極的に救急車両・ドクターヘリからの救急患者を受け入れています。外傷の症例は勿論、手外科、関節外科、脊椎外科それぞれの分野で最先端の医療を提供しています。研修の2年目には自由に選択可能な期間を長く設けており、整形外科専門医を目指している先生には最適の病院です。

募集人数 **2名** **病床数** **182床**
(令和8年度 採用予定人数)

待遇 給与1年目: 500,000円/月
給与2年目: 600,000円/月



研修プログラムの特徴

地域中核病院として幅広い疾患を経験できプライマリ・ケアの基本的な診療能力が身につきます。診療所から地域の基幹病院まで多くの施設で研修が受けられるプログラムになっており、将来の方向性を見いだせます。基幹型の研修病院として常時15名の常勤医を指導医として頼ることができ、評価をミニマムEPOCで行うため、研修項目毎の指導医に評価を依頼できます。

研修スケジュール例

1年目	内 24週	救 8週	麻 4週	外 4週	小 4週	産 4週	精 4週
2年目	地 4週	選 48週					

内…内科(消化器・循環器・血液)、救…救急、麻…麻酔、外…外科、小…小児科、産…産婦人科、精…精神科

地…地域医療、選…選択科

関連病院 等

- ・吉南病院
- ・山口県立総合医療センター
- ・山口大学医学部附属病院
- ・山口赤十字病院
- ・やすの皮膚科
- ・阿知須同仁病院
- ・仁保病院 ほか

主な勉強会

症例検討会
(内科・外科合同、整形外科)、
CPC(随時)、
抄読会(整形外科)

プログラム [整形外科]

責任者 服部 泰典 医師



Q 当院の自慢は?

地域中核病院として、職員数の充実と研究研修に力を入れていますが、また得意とする整形外科のブランド化を積極的に展開しています。



Q 研修内容のセールスポイントは?

小規模病院でありながら、幅広い症例は勿論、世界最先端の整形外科治療を経験することができます。マンツーマンで対応することができ、整形外科を志望する研修医にとっては理想的な環境です。



Q どんな指導を心掛けていますか?

技術の習得のみではなく、基本的な知識の重要性を強調しています。

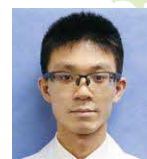


Q 医学生へのメッセージ

優秀な臨床医になるためには、目標とする先輩の下で働くことです。

専攻医 [大分大学出身]

研修医 曽根崎 至超 医師



Q 研修先病院として選んだ理由は?

多くの論文を出され、講演をされている著名な先生方がいらっしゃる病院であり、手外科・マイクロサージャリーの研修が可能な病院です。具体的な上達目標を掲げており、しっかり学べる環境だと感じ研修先として選択しました。



Q この病院を選んでよかったことは?

カンファレンスをしっかり行う病院であり、自分の評価・治療プランが正しいか客観的に評価してもらうことができ、大変勉強になりました。また、勉強の仕方自体を教わることで、一つ一つ系統立てて学ぶことを教わりました。



Q 研修で最も身についたことは?

手外科・マイクロサージャリーの世界を知り、学び、自身でも執刀する機会をいただきました。また、自分の考えをまとめてプレゼンテーションすることが研修前より上達したと思います。



Q 医学生へのメッセージ

学び方を教われる病院は多くありません。最先端の医学に携わっている先生方がどのように考え診療を行っているかを学ぶ非常に貴重な機会になると思います。



お問い合わせ先

担当部署: 事務長 | 担当者: 藤部 恭史 | 電話: 083-972-0333
Eメール: t-fujibe@ja-yckousei.or.jp

8 山口大学 医学部附属病院

所在 〒755-8505 山口県宇部市南小串1-1-1

山口県唯一の特定機能病院である当院は、高度救命救急センターを設置し、ドクターヘリの基地病院として救急医療体制を担い、二次救急で対応できない複数診療科領域の重篤な患者に対し高度な医療技術を提供する三次救急医療機関です。教育・研修、研究にも力を入れており、最先端の機器を取り入れ、変化する社会の要望に貢献できる医療人の育成、新しい診断および治療法の研究開発を行っています。

募集人数 16名 **病床数** 754床

(令和8年度 採用予定人数)

待遇 給与1年目: 431,400円/月
給与2年目: 431,400円/月
(当直手当、時間外手当を含む)



臨床研修病院

研修プログラムの特徴

プライマリケアから最新医療・専門的医療まで、大学病院と協力病院の特徴を生かした多様な研修が可能です。各専門領域に経験豊富な指導医がいるので、初期研修時から新しい専門医制度に対応した症例を学ぶことができます。

研修スケジュール例

① 全方向型自由設計コース

1年目							
内		救		産	外	小	精
24週		12週		4週	4週	4週	4週
内…内科、救…救急、産…産科婦人科、外…外科 小…小児科、精…精神科							
2年目							
選	地	来	選				
8週	4週	4週	36週				
選…選抜科、地…地域医療、来…外来							

選…選択科、地…地域医療、来…外来

② 小児科・産科婦人科・周産期コース

1年目					
産	産(選)	内		救※	外
4週	8週	24週		12週	4週
産…産科婦人科、産(選)…産科婦人科(選択科)、 内…内科、救…救急、外…外科					
2年目					
小	小(選)	地	来	精	選
4週	8週	4週	4週	4週	28週

産…産科婦人科、産(選)…産科婦人科(選択科)、
内…内科、救…救急、外…外科
小…小児科、小(選)…小児科(選択科)、
地…地域医療、来…外来、精…精神科、選…選択科
※全研修期間のうち小児科または産科婦人科を計32週以上必要となる。

※救急研修は麻酔科4週間を含むことができます。

関連病院等

- ・宇部中央病院
- ・山口宇部医療センター
- ・山口労災病院
- ・済生会山口総合病院
- ・小郡第一総合病院 ・山口赤十字病院
- ・関門医療センター ・下関市立市民病院
- ・済生会下関総合病院
- ・下関医療センター
- ・山口県立総合医療センター
- ・徳山中央病院
- ・周東総合病院
- ・岩国医療センター ほか

主な勉強会

研修医木曜セミナー(毎週木曜日)、
臨床病理検討会(CPC)(年6回開催予定)、
感染対策研修会(年2回)
ICLS、緩和ケア講習会 など

指導医

[糖尿病・血液内科]

宮崎 睦子 医師



研修医

研修2年目[川崎医科大学出身]

茶堂 純 医師



当院の自慢は?

現在病院再開整備中であり、新棟がR元年に開院した後、順次新しい検査室や外来ブース等がオープンしています。R6年度にPET-CTが導入されました。



研修内容のセールスポイントは?

数多くの診療科や協力型研修施設の中から研修医一人ひとりの希望に合わせて自由に研修プランが立てられます。たすき掛け研修によりコモンディーズから希少疾患まで広くカバーし、将来の専門領域を重点研修する等、内容の濃い経験が可能です。シミュレーターを用いた実習も充実!



どんな指導を心掛けていますか?

研修医目線で分かりやすく丁寧に、症例ごとに深く考察し、技術力だけでなく診断力がつくように指導します。



医学生へのメッセージ

山口大学では自分の将来を見据えたオーダーメイド研修が可能です。充実した研修になるようスタッフ全員でサポートしますので、是非一度病院見学へ来てください!



研修先病院として選んだ理由は?

大学病院だけでなく、たすき掛け制度で市中病院でも研修が可能であり、両者の良いところ取りができることや、自分の興味がある分野に合わせて自由に研修スケジュールが選択できることに魅力を感じたからです。



この病院を選んでよかったことは?

大学病院では専門的な症例、たすき掛けの市中病院ではcommon diseaseといった幅広い症例を初期研修医の間で経験することができました。また大学では教育熱心な先生も多く、手厚い指導により質の高い医療を学べていると感じます。



研修で最も身についたことは?

市中病院では手技や救急対応、大学病院では先端医療や臨床推論の能力といった研修終了後にも医師として必要な内容がバランスよく身に付いたと思います。



医学生へのメッセージ

研修先の病院選びで迷っている学生さんも多いと思います。山大で研修すれば山口県内の様々な症例を幅広く経験することができるので、将来県内で働きたいと考えている方には特におすすめです。



お問い合わせ先

担当部署: 総務課医師育成支援係 | 担当者: 久保 琢生
電話: 0836-22-2129 | Eメール: me209@yamaguchi-u.ac.jp

宇部中央病院

所在 〒755-0151 山口県宇部市大字西岐波750

UBE(株)の結核療養施設として1953年に開設以来、宇部市における市民病院的な役割を果たし、一般市民の利用が93%を占めています。「いつでもどこでも誰でも安心してかかる中央病院」を理念に地域の中核急性期病院として高度専門医療と24時間対応の救急医療を実践。平成26年10月より医療法人化し、地域医療支援病院の認定も取得しました。

募集人数 **5名** 病床数 **384床**

(令和8年度 採用予定人数)

待遇

給与1年目: 520,000円/月
(日当直手当・時間外等込)

給与2年目: 610,000円/月
(日当直手当・時間外等込)



研修プログラムの特徴

日常診療や日当直で頻繁に遭遇する疾患に対応できるように、プライマリ・ケアの基本的な診断能力(態度、技術、知識)の習得を目指します。2年目には文献検索、学会発表、屋根瓦式に研修医・学生さんへの指導も行ってもらいます。研修スケジュールは希望を聞いて調整しており適時変更も可能。小児科、産婦人科、精神科の研修は連携している山口大学医学部附属病院にて研修。

研修スケジュール例

1 年 目	内 24週	救 12週	外 4週	小 4週	産 4週	精 4週
	内…内科、救…救急部門、外…外科、小…小児科、産…産婦人科、精…精神科					
2 年 目	地 4週	一 4週	必修分野およびそれ以外の分野より選んで研修 43週			
	一…一般外来、地…地域医療					

関連病院 等

- ・ 山口大学医学部附属病院
- ・ 山口宇部医療センター
- 地域医療研修:
- ・ 薩摩川内市甕島手打診療所
(ドクターコトモデル診療所) ほか

主な勉強会

画像読影会(週1回)、
各部門、指導医によるレクチャー
(適宜)

指導医
(プログラム責任者) **井本 忍** 医師

[糖尿病・血液内科]



研修1年目 [山口大学出身]
研修医 **田中 涼太郎** 医師



当院の自慢は?

宇部山陽小野田地区の2次救急の約半分を担当しており、緊急の検査、入院、治療ができる体制を整えています。麻酔科スタッフも充実し緊急手術にも対応。速やかな診断、治療が可能で先生方の腕前が試されます。



研修内容のセールスポイントは?

研修医数は1学年4-5名で症例や手技を十分に経験することができます。研修医向けのレクチャーが充実しており実臨床経験の幅を広めてくれます。大学病院連携の臨床教育センターを設置しており文献検索閲覧、Up To Dateなどのアクセスが容易です。



どんな指導を心掛けていますか?

問診、診察から検査、診断に至る過程を重視しエビデンスを交えて論理的に示し、更にカルテにまとめられるように指導しています。またコメディカルとの連携と意思疎通(チーム医療)を大切にして、患者さんへの十分な説明と理解に力をいれています。



医学生へのメッセージ

まずは自分がどんな医者になりたいかを考えて、希望を満たす病院を探してください。学生さん・研修医は積極的にフットワーク軽く行動したくさん学んでください。働きやすい当院に是非一度見学に来てください。



当院を研修先として選んだ理由は?

研修医向けの様々な形式のレクチャーがあり、医師として働くうえで必要な知識と技術を十分に身につけることができると考えました。指導医の先生方やコメディカルの方々は優しく接してくださり安心して研修医生活を送れると感じたからです。



どんな勉強会が行われている?

放射線の画像勉強会が週に1回あり研修医が救急の現場で経験する症例の胸部X線やCTやMRIなどの画像を勉強することができます。他にも豊富なレクチャーがあり、初めて医師として働くときに必要な輸液や抗がん剤の選び方、指示簿の書き方などを詳しく教えていただけます。



研修で最も身につけられたことは?

救急で必要になる採血やルート確保、胸腔穿刺や骨髄穿刺などローテートしている科で行われる手技を実践する機会があり身につけることができます。地域に根差したcommon diseaseを幅広く経験することができ、総合的な診断や治療を考える力がつきます。また、患者様の社会的背景や感情や環境を理解し患者様に合わせた医療を提供できるように考える力もつけることができます。



研修の特色はどこに感じる?

研修医生活を送るうえで必要な環境が充実しており、指導医の先生方やコメディカルの方々から手厚い指導を受けることができます。山口大学医学部附属病院の臨床教育センターもあり、参考書など充実した教育資源が活用でき適切な知識を得ることもできます。



お問い合わせ先

担当部署: 経営管理部 | 担当者: 藪 | 電話: 0836-51-9286
Eメール: ube-kenshu@ube-hp.or.jp

宇部協立病院

所在 〒755-0005 山口県宇部市五十目山町16-23

医療の安全性と平等性を地域で実践するために医療生協組合員と医療生協職員の手で創り上げた病院です。プライマリ・ケアを担う病院として、高度医療においては大学病院などの隣接病院と連携し、地域に求められている医療とは何かを意識しながら、安全・安心の医療と患者の人権を大切に医療、無差別平等の医療を推進していきます。

募集人数 **2名** 病床数 **159床**

(令和8年度 採用予定人数)

待遇 給与1年目: 400,000円/月
給与2年目: 450,000円/月

研修プログラムの特徴

宇部・小野田地域を中心に予防から診断・治療・リハビリ・介護までを実践しながら、医療制度をよくする運動にも取り組んでいます。プライマリ・ケアの習得に最も適した中規模病院で、地域医療を進めつつ、「生活している」患者さんを実感しながら、自らの将来の医師像を描いていける臨床研修を実施します。

研修スケジュール例

1 年 目	内 6カ月		救 3カ月	小 1カ月	産 1カ月	精 1カ月
	内…内科、救…救急部門、小…小児科、産…産婦人科、精…精神科					
2 年 目	外 1カ月	地 1カ月	必須診療科・選択科から希望に応じて選択可能 10カ月			

選択科目…総合診療科、麻酔科、整形外科、眼科、皮膚科、耳鼻咽喉科、保健・医療行政、内分泌内科、神経内科

関連病院等

- ・ 山口大学医学部附属病院
- ・ 宇部中央病院
- ・ 長門一ノ宮病院
- ・ 生協小野田診療所
- ・ 山口赤十字病院
- ・ 林道倫精神科神経科病院
- ・ 健和会大手町病院
- ・ 鳥取生協病院
- ・ 山口県庁
- ・ 下関医療センター
- ・ 美祢市立病院

主な勉強会

採血実習、抄読会、研修医カンファレンス、エコー研修、読影、全国並びに中国四国地域の他県研修医と一緒に研修・交流 など

プログラム
責任者

西村 洋一 医師



Q 当院の自慢は？

救急から、リハビリテーション、在宅医療まで幅広い医療を展開しています。また、無料低額診療という経済的に困窮した患者さんの負担を軽減する制度に積極的に取り組んでいます。



Q 研修内容のセールスポイントは？

受け入れられる研修医の数が少ない分、個々の先生とよく話し合いをしてオーダーメイドな研修ができます。他職種との垣根が低いので、チーム医療を実感しやすいと思います。



Q どんな指導を心掛けていますか？

支援と自主性のよいバランスを意識して、症例から一緒に学ぶ姿勢で指導していきたいと思っています。



Q 医学生へのメッセージ

勉強、運動、趣味など外へ出て幅広く活動にチャレンジしてください。

研修医

研修医2年目[久留米大学出身]

緒方 アキラ 医師



Q 研修先として選んだ理由

当院は「在宅養育支援病院」として在宅医療に力を入れています。自分自身、学生時代から地域医療・在宅医療に関心があり、それらを学びながら研修できる点、また、研修医の要望に柔軟に対応できる環境も魅力的でした。



Q この病院を選んでよかったこと

研修医への教育が充実していることです。当院では入職後、看護や介護の他、MSW・医療事務等も含めたコメディカルについて学ぶ期間があります。今後、診療に関わる職種について知ること、オーダーを出す際、他職種が実際にどのような動きをするのかイメージでき、適切な指示に繋がると考えています。



Q 研修で最も身についたこと

前述の他職種研修を経て、チーム医療における他職種の主な役割を把握することができました。採血・ルート確保、尿道留置カテーテル等実践的な部分は、事前にしっかり教育してもらったので、実際の診療ではスムーズに行うことができます。



医学生へのメッセージ 当院は研修医を育成する環境が充実しており、各個人に合った指導を受けることができます。研修医の要望も柔軟に取り入れて下さるので、自分のやりたいことを幅広く実現できると思います。また、当院は比較的小さな病院であるため他病院での研修も増えますが、その分当院では経験できなかった部分を経験でき、視野が広がると考えています。当院研修に興味のある方は、ぜひ見学にお越しください。



お問い合わせ先

担当部署：医局秘書課 | 担当者：林 | 電話：0836-33-6111
Eメール：hayashic399@gmail.com

山口労災病院

所在 〒756-0095 山口県山陽小野田市大字小野田1315-4

二次医療圏の中核をなす急性期型総合病院であり、地域医療支援病院として多くの登録医との間で紹介・逆紹介を行なっています。勤労者の健康福祉に関する政策医療は病院のもう1つの柱で、勤労者の心筋梗塞、脳梗塞、外傷などの急性期医療からリハビリテーション、予防医療まで幅広く取り組んでいます。

募集人数 **5名** 病床数 **308床**

(令和8年度 採用予定人数)

待遇 給与1年目: 約500,000円/月

(日当直手当等込)

給与2年目: 約600,000円/月

(日当直手当等込)



研修プログラムの特徴

1年目の内科研修は、循環器内科、糖尿病・血液内科、消化器内科を合わせて24週ローテートし、救急患者の診療も併せて行います。2年目の地域医療は、市内の開業医から希望する医療機関を自身で選択。協力病院として登録する山口大学医学部附属病院や、小郡まきはら病院等でも研修することができます。

研修スケジュール例

1 年 目	内 (循環)8週	内 (血液)8週	内 (消化器)8週	救 8週	麻 4週	総 4週	産 4週	小 4週	精 4週
	内…内科、救…救急、麻…麻酔科、総…総合内科、産…産婦人科、小…小児科、精…精神科								
2 年 目	地 4週	外 4週	選 44週						
	地…地域医療、外…外科、選…選択科								

関連病院 等

- ・ 山口大学医学部附属病院
- ・ 小郡まきはら病院
- ・ 横浜労災病院
- ・ 瀬戸整形外科クリニック
- ・ 森田病院
- ・ 吉中内科医院
- ・ 萩市民病院
- ・ 都志見病院 ほか

主な勉強会

各診療科カンファレンス:
各診療科〈週1回〉、
研修医カンファレンス〈月2回〉

指導医 [救急科部長] 河村 宜克 医師



Q 当院の自慢は?

25診療科を有しており、初期研修に必要なかつ十分な症例を経験できます。各診療科や病院スタッフ間の関係が良好です。また山口県内で初めて卒後臨床研修評価機構(JCEP)の認証を受けた病院です。



Q 研修内容のセールスポイントは?

ローテーションは希望をもとに柔軟に編成できます。また経験豊富な指導医のもと丁寧なマンツーマン指導を受けながら、主体性を持って実践的に診療を進めることができます。



Q どんな指導を心掛けていますか?

手技ができるようになるのも大切ですが、それだけでなく問題解決に必要な「考える力」を養うよう意識して指導しています。



Q 医学生へのメッセージ

医師になると医学部に入学し勉学に励んでこられたと思います。医師になるのはもう目の前です。しかしそれはスタート地点に立ったに過ぎません。皆さんの描く理想の医師像を現実にするために、共に歩んでいきましょう。

研修医 飯橋 舞 医師



Q 研修先として選んだ理由

研修医の人数が少ないため、指導医からマンツーマンで指導して頂けそうであったこととローテーションや研修環境について研修医の意見を聞いてもらえる雰囲気であったからです。



Q この病院を選んでよかったこと

先生方やコメディカルの方がとても優しく、根気強く様々なことを教えていただけることや研究費で自分が勉強したい事柄に関する書籍を購入できることです。



Q 研修で最も身についたこと

毎日指導医からのフィードバックがあり、できたことと次から気をつけていきたいことを自分で言語化することによって少しずつ自分が自慢の成長を感じています。



Q 医学生へのメッセージ

自分の性格ややりたい医師像に合わせて研修先を決めるのが良いと思います。山口労災病院では臨床実習や見学を受け入れているので、ぜひ一度いらしていただくと幸いです。



お問い合わせ先

| 担当部署: 総務課 | 担当者: 浜崎・阿座上 | 電話: 0836-83-2881
| Eメール: yamaguchirosai@yamaguchih.johas.go.jp

下関医療センター

所在 〒750-0061 山口県下関市上新地町3-3-8

急性期病院として191床の一般病床、地域包括47床をもち、専門的に特化する診療科を多数有するとともに、医療(病院・訪問看護ステーション)・保健(健康管理センター)の機能を統合して地域医療の中核を担い、広く健康増進に貢献する総合医療機関です。

募集人数 5名 **病床数** 315床
(令和8年度 採用予定人数)
(一般病床191床、地域包括47床(休床あり))

待遇
 給与1年目: 約526,000円/月
 給与2年目: 約526,000円/月
(当直手当は超過勤務手当として支給)
 賞与2回(夏季・冬季): 246,000円
(1年目夏のみ73,800円)



研修プログラムの特徴

基幹型研修病院であるとともに、山口大学、熊本大学の卒後初期臨床研修の協力病院として大学のプログラムを共有する。内科・外科科目の中では、地域の脳神経疾患の中核を担っている脳神経外科、消化器内科・消化器外科の科目を研修することができます。また、地域で初めて、総合診療科を設置し、下関市26万人の充実した救急症例を学ぶことができます。※山大とたすき掛け研修可能。熊大は不可。

研修スケジュール例

1 年 目	消 8週	麻 4週	外 4週	選 4週	血 4週	糖 4週	救 8週	小 4週	産 4週	精 4週	選 4週
	3週目より救急部門当直(救急部門ローテーション時は6回/月、それ以外は4回/月)										
	消…消化器内科(内科)、麻…麻酔科、外…外科、選…選択科、血…血液内科、糖…糖尿病内分泌内科、救…救急部門、小…小児科、産…産婦人科、精…精神科										
2 年 目	地 4週	糖 8週	総 4週	選 4週	救 4週	選 28週					
	救急部門当直(救急部門ローテーション時は6回/月、それ以外は4回/月)										
	地…地域医療、糖…糖尿病内分泌内科、総…総合診療科(一般外来)、選…選択科、救…救急部門 ※診療科の日程は研修医の選択、指導医の都合で調整する。										

関連病院 等

- ・山口大学医学部附属病院
- ・熊本大学病院(当院、協力病院)
- ・関門医療センター
- ・済生会下関総合病院
- ・下関病院
- ・周防大島町立東和病院
- ・よしみず病院
- ・下関市立豊田中央病院
- ・周防大島町立大島病院 ほか

主な勉強会

- ・プライマリケア・カンファレンス・救急症例
- ・〈月4回(救急部門時は月6回)〉、指導医・上級医による講義
- ・〈月曜講義〉、救急対応講義〈4、5月〉

プログラム [消化器外科]

責任者 西村 拓 副院長



Q 当院の魅力は?

歴史、絶景、観光などの有名スポットが多数あり、海産物、コリアングルメなど食べ物にも恵まれています。また九州とのアクセスも良く、田舎と都会がバランスよく共存している街です。教育、生活の両面で充実した研修環境を提供しています。



Q 研修内容のセールスポイントは?

豊富なスタッフを擁していることに加え、近隣に点在する総合病院、精神科病院、療養型病院と密に連携をとり幅広い臨床研修を学べます。また、個々の希望に応じた研修内容も可能な限り対応しています。



Q どんな指導を心掛けていますか?

個々の希望に添えるような研修を心掛けています。また医師としての、しっかりとしたライフプラン、キャリアデザインを築くための指導とサポートに努めています。昨今の働き方改革にも十分留意した対応を行っています。



Q 医学生へのメッセージ

医師とは一生をかける価値のある仕事だと思います。また、初期研修は今後のキャリア形成において重要となってきます。当院で共に働き、希望に満ちた医師生活を始めてもらえればと思います。

研修1年目 [九州大学出身]

研修医 楯林 英一郎 医師



Q 研修先病院として選んだ理由は?

カリキュラムの自由度が高く、自分の志望科に合わせて柔軟に研修が組める点に魅力を感じました。また、医師同士はもちろん、医師と他職種の方とのコミュニケーションもスムーズで、病院全体の雰囲気良かったことも、ここで研修したいと思った大きな理由のひとつです。



Q 研修病院としての特色を教えてください

少数精鋭の体制で、研修医同士の仲が良く、助け合いながら学べる雰囲気があることが特徴です。高齢化が進む地域を支える中核病院として、地域医療にしっかりと関わることができるのも魅力です。



Q この病院を選んでよかったことは?

各科に基本的に1人の研修医がローテーションする体制なので、じっくりと丁寧な指導を受けられます。特に指導熱心な先生が多く、日々の業務を通じて医師としての確かな実力を身につけることができている。また、診療科の垣根が低く、疑問があれば他科の先生にも気軽に相談できる、風通しの良い環境が整っているのも魅力です。



Q 医学生へメッセージ

初期研修先を選ぶときは、「自分が2年間どんな環境で成長したいか」を考えることが大切だと思います。下関医療センターは、研修医の主体性を尊重してくれる病院で、自分の興味や目標に合わせてのびのびと学べる環境が整っています。指導医の先生方はとても熱心で、どんな小さな疑問にも丁寧に向き合ってくれるため、日々の診療の中で着実に力がついている実感があります。また、少数精鋭の体制なので病院全体が研修医をしっかり見てくれており、安心してチャレンジできる空気があります。仕事だけでなくプライベートの時間も大切にできるため、無理なく自分らしく働けるのも大きな魅力です。実際に見学してみると、病院のあたたかい雰囲気や、研修医同士の仲の良さを肌で感じられると思います。ぜひ一度足を運んでみてください!



お問い合わせ先

担当部署: 総務企画課 | 担当者: 福田 | 電話: 083-231-5811
 Eメール: soumu@shimonoseki.jcho.go.jp

関門医療センター

所在 〒752-8510 山口県下関市長府外浦町1-1

当センターは国立病院機構の施設として、国の保健医療政策を第一線で推進する重要な使命を担っています。特に、がん、循環器病、成育医療（主として母性、小児に関する医療）についてそれぞれ国立がん研究センター、国立循環器病研究センター、国立成育医療研究センターを頂点とする全国の国立病院網と政策医療ネットワークを組み、高度先駆的・専門的医療の実施や研究、研修を精力的に進めています。

募集人数 **15名** **病床数** **400床**
（令和8年度 採用予定人数）

待遇 給与1年目：456,000円/月
 給与2年目：523,000円/月



研修プログラムの特徴

選択科が多いテラーメード式のため満足度の高い研修プログラムを組むことが可能です。2年間の研修期間中に総合外来、救急当直に参加し、プライマリ・ケアと救急研修の充実を図りながら、指導医の下で豊富な症例を経験できます。また多くの研修協力施設があり沖縄や香岐、海外での研修機会もあります。

研修スケジュール例

1年目	内 24週		救 8週		総 4週	外 4週	麻 4週	整 4週	選 4週
	内…内科、救…救急、総…総合診療科（一般外来）、外…外科、麻…麻酔科、整…整形外科、選…選択科								
2年目	小 4週	産 4週	精 4週	地 4週	選 36週				
	小…小児科、産…産婦人科、精…精神科、地…地域医療、選…選択科								

関連病院 等

- ・ 山口大学医学部附属病院
- ・ 山口県立こころの医療センター
- ・ 山口赤十字病院
- ・ 周防大島町立大島病院
- ・ 下関病院 ・ 吉水内科
- ・ 四国こどもとおとなの医療センター
- ・ 北部地区医師会病院（沖縄県）
- ・ 長崎県香岐病院
- ・ 小倉記念病院
- ・ 公立みつぎ総合病院（尾道市）
- ・ 海外（WHO本部） ほか

主な勉強会

- 救急全例検討会（週1回）
- 研修医による救急症例勉強会（週1回）
- 指導医による勉強会（週1回）

プログラム責任者 [消化器内科] **戒能 聖治 医師**



研修医 [山口大学出身] **尾上 和希 医師**

- Q 当院の自慢は？** なんとといっても病院の窓から見渡せる関門海峡のオーシャンビューは圧巻です。城下町長府の歴史的地区に隣接しており、心癒される環境で研修ができます。研修医宿舎は病院敷地内で隣接しており、しっかりと研修に取り組むには最適です。周囲にはショッピングモールや飲食店も点在しており、不自由なく過ごしてもらえます。美術館も近隣にあり、少し足をのばせば唐戸市場や水族館もあり、休日にも楽しむことができます。
- Q 研修内容のセールスポイントは？** 多くの研修医が所属しており、活気にあふれています。救急患者や総合診療患者が多く受診します。研修医にはこれらの初期対応に当たってもらうため、基礎的な臨床能力を身に付けることができます。研修医が主体の症例検討会や勉強会も毎週開催されており、多方面で実力を身につけることができます。国内外に多くの関連研修施設を有しており、ニーズに合った自由度の高い研修プログラムを組むことができます。
- Q どんな指導を心掛けていますか？** 自ら取り組んでもらえるように指導しています。研修医が自分で考え、問題点を挙げ整理し、指導医とのディスカッションを踏まえて解決に進んでいけるよう努めています。当院には豊富な知識と経験を有した幅広い指導医が多く在籍しています。個々の研修医の要望に合わせた指導を心掛けています。
- Q 医学生へのメッセージ** 当院で研修を行うことで、十分に満足してもらえるものと自負しています。研修医がはつらつと働く姿をぜひ一度見に来てください。

- Q 研修先病院として選んだ理由は？** 初期研修2年間は救急医療を重点的に学びたいと考えたためです。海が近く眺望が良い点もポイントでした。
- Q 研修病院としての特色を教えてください。** 同期の人数が多いこともあり、困った時には研修医同士で助け合う風土があります。当直業務では初期研修医がメインで初療にあたる点や、軽症～重症例まで幅広い疾患を経験できる点も挙げられます。
- Q 研修で身についたことは？** 特に救急対応の初療について、手技も含め幅広い疾患に対する対応力を身につけることができました。その過程で、主体的に学び知識を体系化する仕組みを構築できました。また、当直で僞軍孤進な状況であっても、なんとか乗り越える胆力を身につけることができたのは今後の大きな糧になると確信しております。
- Q 医学生へのメッセージ** 現在、地域の急性期病院が再編される過渡期にあり、当院もその渦中にあることを実感しております。その中で初期研修を送る日々は大変興味深い経験となることでしょう。国試勉強や部活など、色々大変かと思いますが頑張ってください！



お問い合わせ先

担当部署：研修部長 | 担当者：戒能 聖治 | 電話：083-241-1199
 Eメール：KanmonKenshuui@mail.hosp.go.jp

山口県 済生会 下関総合病院

所在 〒759-6603 山口県下関市安岡町8-5-1

県西部の基幹病院として平成17年に新築移転。地域の医療機関と連携し「心のかよふ質の高い医療」を提供しています。二次救急病院としてヘリポートも設置し、総合病院として標榜科は30科。小児救急拠点病院、地域周産期母子センター、地域医療支援病院、災害拠点病院、がん診療連携拠点病院に指定され、将来の専門医を見据えた総合診療能力を病院全体で育みます。

募集人数 **10名** 病床数 **373床**

(令和8年度 採用予定人数)

待遇 給与1年目：約550,000円/月(手当含む)
給与2年目：約600,000円/月(手当含む)
賞与1年目：450,000円、2年目：600,000円

研修プログラムの特徴

幅広く知識が身に付くよう総合診療方式の研修を基準としながら、将来の専門医を考慮し、研修医の希望が叶えられるよう柔軟に配置。各部門多くの症例を実際に経験でき、各種カンファレンスに参加して総合的な知識を得ることが出来ます。同時にプライマリ・ケアのできる幅広い第一線の臨床医を育成します。

研修スケジュール例

1 年 目	内 (腎内、呼吸器、循環器、消化器) 24週 一般外来(週1日)	救 4週	小 4週	産 4週	外 6週	麻 6週
	内…内科、救…救急、小…小児(一般外来含)、産…産科、外…外科、麻…麻酔科					
2 年 目	地 4週	精 4週	残りの44週間は希望の科を自由に選択可能 必須の救急の残り8週間は当院輪番制の救急日直・当直を行う			
	地…地域医療、精…精神科					

関連病院 等

- ・ 山口大学医学部附属病院
- ・ 下関病院(精神科)
- ・ 下関リハビリテーション病院(地域医療)
- ・ 下関市立豊田中央病院(地域医療)

主な勉強会

- ・ 救急カンファレンス(毎週)、内科合同カンファレンス(毎週)、外科カンファレンス(毎週)

プログラム 責任者 [呼吸器内科] **宇山 和宏 医師**



- Q 当院の自慢は？** 症例数が豊富で症例のバランスもとれており、各科の垣根も低く困った症例も気軽に相談できる環境があります。また医師、看護師、薬剤師、検査技師、メディカルスタッフのモチベーションが高く、病院が一丸となって熱い心で医療を行っています。
- Q 研修内容のセールスポイントは？** 地域に密着した基幹病院であるため、プライマリケアから高度医療まで充実した研修を行うことができます。救急車の受け入れ件数も多く、多くの症例を経験できます。また各科での研修は、多くの優秀な指導医によるマンツーマンで対応しており、きめ細かい指導が可能です。さらに救急外来で難渋した症例を中心に、指導医も参加して症例検討会を毎週行い、症例の振り返りも行っています。
- Q どんな指導を心掛けていますか？** 基本的な手技の習得および受け持った症例の診断・治療を主体的に考えてもらうこと、患者さんに耳をかたむけ、患者さんに合ったよりよい治療と一緒に考えていくことを心掛けています。
- Q 医学生へのメッセージ** 症例に偏りがなく、common diseaseから希少疾患まで、多くの症例を経験できる病院だと思います。よりよい医療を目指して一緒にがんばりましょう。

研修2年目[山口大学出身] **中村 優太郎 医師**



- Q 研修先病院として選んだ理由は？** 私は大学6年生時、小児科と産婦人科に興味があり、周産期医療に強い当院に魅力を感じました。また、何度か見学に行った際に指導医や研修医の先輩方がとても親身に接して下さったり、医師以外のコメディカルスタッフの方々も温かく受けて下さったことに居心地の良さを感じ、病院全体としての雰囲気の高さにも惹かれたことも決めてとなりました。
- Q 研修病院としての特色を教えてください。** 当院の研修では、指導医の先生からマンツーマンで指導を受けることができ、研修医期間中に必要な手技を一通り学ぶことができます。また現在下関では、当院を含めた三病院の輪番で救急対応をしていますが、救急当番日には救急外来で軽症から重症まで様々な患者を診ることが出来ます。また、上級医のサポートも手厚いです。
- Q 研修で最も身についたことは？** 救急当番日の救急外来でのファーストタッチは、基本的に研修医が全行っているため、様々な主訴に応じた初期対応や鑑別疾患を考える能力が身に付きました。また、フィードバックのためのカンファレンスも充実しているため、自分の臨床能力を着実にブラッシュアップしていくことができると思います。
- Q 医学生へのメッセージ** 内科、外科、周産期をはじめ多くの診療科がある当院では、充実した研修医生活を過ごせると思います。病院の雰囲気もとても良いので、当院に少しでも興味のある方は、是非、病院見学にお越し下さい。



お問い合わせ先

担当部署：経営管理課 | 担当者：村田 智隆 | 電話：083-262-2300
Eメール：soumuka@simo.saiseikai.or.jp

下関市立市民病院

所在 〒750-8520 山口県下関市向洋町1-13-1

下関医療圏の中心的役割を担い、「安心の優しい医療を提供し、市民から信頼される病院を目指します」の基本理念のもと、地域から信頼される中核病院の役割を果たしています。悪性疾患、救急医療、生活習慣病の診療を重点項目に掲げ、感染対策にも注力。地域の医療機関と連携を図り、多様なニーズに対応できる医療機能の充実も強化しています。

募集人数 **5名** 病床数 **382床**

(令和8年度 採用予定人数)

待遇 給与1年目: 530,000円/月 程度 当直手当含む
給与2年目: 560,000円/月 程度 当直手当含む
賞与2回 (夏季・冬季)

研修プログラムの特徴

必修科の内科24週、外科、小児科、産婦人科、精神科をそれぞれ4週、救急科12週(うち4週は麻酔科で研修、研修期間内の当直回数含む)、麻酔科を8週研修。地域医療は2年次に4週研修、残りの期間は選択科とし、研修医の希望も入れた研修計画を研修管理委員会で決定します。一般外来は内科・外科・地域医療の研修中に並行して研修を行います。救急当番日は副当直として月4回程度診察に従事します。

研修スケジュール例

1 年 目	内 24週	麻 8週	外 4週	小 4週	産 4週	精 4週	救 4週
	内…内科、麻…麻酔科、外…外科、小…小児科、産…産婦人科、精…精神科、救…救急科						
2 年 目	地 4週	1年次で修了しなかった必修科を行い、残りは選択科として自由に選ぶことができます。					
	地…地域医療						

関連病院 等

- ・ 下関市立豊田中央病院
- ・ 済生会下関総合病院
- ・ 下関病院
- ・ 山口大学医学部附属病院
- ・ 山口赤十字病院
- ・ 済生会豊浦病院
- ・ 宇部協立病院

主な勉強会

救急に関する早期講義
(4月～5月下旬くらいまで)、
CPC(年1回)、BLS、ACLS、
ICLSなど

プログラム [リウマチ膠原病内科]

責任者 **大田 俊一郎 医師**

Q 当院の自慢は?

化学療法センター、透析センターを併設し多様なニーズに対応しています。また緩和ケア病棟では終末期医療を学ぶことができます。呼吸器腫瘍センター、脊椎・脊髄病センター、リウマチ・関節センターなどでは、診療科の垣根を越え総合的・専門的な診療を行っています。



Q 研修内容のセールスポイント

少人数での指導で多くの手技・処置を経験できます。麻酔科研修、BLS・ACLSを修得することで、救急蘇生術を身につけます。また、研修医の希望を取り入れた勉強会を行っています。



Q どんな指導を心掛けていますか?

問診・診察・診断・治療における一連の論理的な思考はもちろんのこと、各検査の意図、結果の解釈など細かく指導を行います。また、医療技術だけではなく、医師として患者に向き合う姿勢など全人的に指導しています。



Q 医学生へのメッセージ

まずは病院見学においでください。百聞は一見にしかず。当院の良さを分かっていたらと思います。

研修2年目[山口大学出身]

研修医 **松島 諒典 医師**

Q 研修先病院として選んだ理由は?

内科を中心に多彩な診療科が揃っており、2年間の研修を通じて一般的な疾患から希少疾患まで、多岐にわたる疾患を経験できると思ったからです。また、2年次の選択期間が長く、自分のキャリアプランに合わせた研修ができるのも魅力でした。



Q この病院を選んでよかったことは?

研修医の人数が多すぎないため、きめ細かな指導を受けることができます。手技の機会も多く、着実に力をつけることができます。また、研修医の仲が良く症例検討もよく行います。



Q 研修で最も身についたことは?

救急の初期対応は最も成長した部分だと思います。時間、場所、人的リソースが限られる救急当直では、日頃の学びを発揮できると共に実践で多くのことを学びました。



Q 医学生へのメッセージ

解剖・生理を理解しておくこと必ず役に立つので、学生のうちに基礎医学を丁寧に復習することをお勧めします。また、たくさんの人と関わり、様々な経験を積むことは、勉強だけでは得られない重要なバックボーンになると思います。当院の研修に興味を持っていただけたらぜひ病院見学にお越しください。



お問い合わせ先

担当部署: 事務部 | 担当者: 濱崎・谷口 | 電話: 083-224-3850
Eメール: kengaku@shimonosekicity-hosp.jp



現場での経験値が
大きくアップするのが当直。

山口県の

当直 レポート

ここでは山口県の
15の臨床研修病院の
当直についてピックアップ！
当直体制や
研修医の役割などを
チェックしましょう！！

1

岩国医療センター

当直体制	研修医2名と内科・外科系の指導医各1名で日直/宿直を担当
当直回数(月平均)	3回
当直時の患者数	約30人
当直手当	1年目、2年目共に 15,000円/月(実労働時間追加で加算)

研修医の役割 救急外来での宿日直業務。ファーストタッチとして、ある程度の診察や検査を行う。

指導医からのフィードバック 救急時が落ち着いた時や当直終了時に必ず振り返りを行う。

2

周東総合病院

当直体制	指導医1名、研修医1名
当直回数(月平均)	4回
当直時の患者数	10～15人
当直手当	日直:20,000円/回、当直:20,000円/回 副直:10,000円/回

研修医の役割 救急外来の日当直。研修科の指導医の日当直日に、指導医のもと、副直医として勤務。

指導医からのフィードバック 基本的に直後に口頭でフィードバックを行う。対応・診断・治療法について、十分ではないところや間違いを指摘して指導する。

当直で身に付く手技・知識 急患対応に必要な基本的な知識や循環確保・気管内挿管・皮膚縫合等の手技。

3

徳山中央病院

当直体制	内科当直指導医1名、外科当直指導医1名、 研修医1年目、2年目各1名(当直時 副直1名 17:30～22:00、土日祝日直のみ研修医1年 目2名、2年目1名)
当直回数(月平均)	3～4回
当直時の患者数	50人
当直手当	日直:1年次 38,880円/回、2年次 42,016円/回 当直:1年次 50,400円/回、2年次 54,462円/回

研修医の役割 救急外来日当直。1年・2年次研修医各1名が内科系当直指導医、外科系当直指導医のもと勤務。研修医が全てファーストタッチを行う。

指導医からのフィードバック 救急車症例と入院症例を毎朝救急モーニングカンファレンスで発表し、救急科指導医とディスカッション。研修医は自身の当直時以外でも朝カンファに参加するので、珍しい症例も疑似体験できる。

4

山口県立総合医療センター

当直体制	研修医1年目1名、2年目1名、内科指導医1名 (原則として初期研修医は内科系疾患のみ診療)
当直回数(月平均)	3～4回
当直時の患者数	40人
当直手当	21,000円/回 別途時間外手当を支給

研修医の役割 救急患者へのファーストタッチ、問診、診察、検査オーダーなど。

● **指導医からのフィードバック** Walk-in症例は問診・身体所見の後にアセスメントとプランを立てて指導医に相談、その後の診療を行う。救急搬送症例は指導医とともに問診や身体所見を取り、一緒にアセスメント等を行う。救急受診患者は、翌朝に救急専門医が画像や検査結果を確認し、見逃した所見や対応について個別に指導することも。

5

済生会山口総合病院

当直体制	指導医2名、研修医2名
当直回数(月平均)	3～4回
当直時の患者数	20人
当直手当	20,500円/回～21,700円/回 (救急体制等による)

研修医の役割 患者さんへのファーストタッチなど。

指導医からのフィードバック ファーストタッチ後、報告時にディスカッションを行って方針を決定。患者が帰った後、または後日に相談という形でフィードバックを実施する。

当直で身に付く手技・知識 心電図、MRI、CTなどの読み方、挿管。

6

総合病院 山口赤十字病院

当直体制	指導医2名、研修医1～2名
当直回数(月平均)	4回
当直時の患者数	10～20人程度
当直手当	20,000円+実績分/回

研修医の役割 上級医の指導のもと副当直に入り、ファーストタッチ、トリアージ、検査オーダー、処置などを行う。

指導医からのフィードバック 当直の場で足りなかったことなどを教えてもらう。必要ならば後日カンファレンス形式で症例検討し、フィードバックする。

当直で身に付く手技・知識 救急患者への一通りの必要な検査や処置。

7

小郡第一総合病院

当直体制	指導医2名、研修医1名
当直回数(月平均)	2回程度(二次救急当番日において)
当直時の患者数	15人程度
当直手当	20,000円/回

研修医の役割 指導医の下での診察など、ファーストタッチを行う。

指導医からのフィードバック 指導医がマンツーマンで指導し、その都度指導医が疑問に對し答える。必要であれば後日症例検討も行う。

当直で身に付く手技・知識 救急患者に対する初期・基本的な検査及び処置。

当直体制	指導医1名、研修医1名
当直回数(月平均)	2回
当直時の患者数	15人程度(病院全体)
当直手当	臨床研修手当に含む

研修医の役割 各科研修中の当直では、各診療領域疾患の初期対応(診察、採血、エコーなど)を行います。先進救急医療センターにおける研修では三次救急の対応を学びます。

指導医からのフィードバック 指導医がマンツーマンで指導し、その都度フィードバックを行います。診察から治療方針決定までの流れについて振り返り、手技の指導や画像読影も行います。

当直で身に付く手技・知識 基本的疾患の初期対応全般(採血、ルート確保、エコー、CT・MRI読影、心肺蘇生、縫合止血など)。

当直体制	指導医1名、研修医2名 (土日祝日で二次救急日の日直は指導医2名)
当直回数(月平均)	4〜7回
当直時の患者数	10人前後
当直手当	1年目:平日 9,500円/回、休日 12,000円/回 2年目:平日 10,000円/回、休日 12,000円/回

研修医の役割 指導医の下、あらゆる救急患者に初診対応することで、プライマリーケアにおける問診能力と基礎技術の習熟を図る。

指導医からのフィードバック 形式的なものはないが、親切的な先生ばかりなのでわからないことは質問しやすい。専門の先生に紹介すると後日、患者さんの状態を教えてください。

当直で身に付く手技・知識 救急でのABCD。

当直体制	指導医1名、研修医1名(副直として)
当直回数(月平均)	3〜4回(副直として)
当直時の患者数	5〜10人程度
当直手当	10,000円/回(1年次) 15,000円/回(2年次) (副直手当として)

研修医の役割 指導医のもとで、副直として勤務。指導医とともにファーストタッチを行う。

指導医からのフィードバック その都度振り返りを実施、指導医からフィードバックを行う。レポートを提出して評価を受けることも。

当直で身に付く手技・知識 静脈・動脈採血、ルート確保、止血、縫合、腰椎穿刺等の手技、心電図、エコー、CT、MRIなどの読み方、全身を診るための知識。

当直体制	研修医1名、指導医は内科系・外科系各1名
当直回数(月平均)	4回
当直時の患者数	8.6人
当直手当	21,000円/回+実働時間分の時間外勤務手当

研修医の役割 指導医のもとアナムネ聴取や身体診察・検査のオーダー、治療を実施する。

指導医からのフィードバック その場で丁寧なアドバイスがあり、患者が入院した場合、入院後の経過についても報告を受けることができる。

当直で身に付く手技・知識 患者トリアージ、基本的かつ重要な診察・診断手技治療や一般処置。

当直体制	指導医2名(内科系・外科系各1名)、 研修医1〜2名
当直回数(月平均)	月4回(救急部門選択週は6回)
当直時の患者数	20人程度(病院全体)
当直手当	超過勤務手当として支給

研修医の役割 指導医・上級医(内科系・外科系各1名)の指導のもとファーストタッチを行い、処置や治療を行う。

指導医からのフィードバック 当直の現場で丁寧な指導があり、後日、症例検討会でフィードバックを受けることができる。CPCの指導あり。

当直で身に付く手技・知識 救急部門(外来)としての初期対応(採血、ルート確保、画像診断読影、心肺蘇生、患者・家族への対応等)

当直体制	輪番日(3日に1回):指導医3名(1名は放射線科医)、 研修医6名 非番日(3日に2回):指導医1名、研修医2〜3名
当直回数(月平均)	6〜8回
当直時の患者数	輪番日:20〜25人、非番日:5人
当直手当	20,000円/回+時間外手当

研修医の役割 救急全症例のファーストタッチを研修医が行う。血液検査、CT検査なども研修医の判断で実施。

指導医からのフィードバック 鑑別診断まで行った後に指導医に相談し、フィードバックを受ける。週1回、救急症例全例の振り返り検討会を指導医と共に開催。

当直で身に付く手技・知識 救急症例の検査(エコーなど)から鑑別診断、治療計画までを1人で出来るようになる。動静脈穿刺、縫合、挿管などほぼ全ての臨床手技が身に着く。

当直体制	指導医2名、研修医適宜
当直回数(月平均)	適宜
当直時の患者数	20人程度
当直手当	25,000円〜30,000円程度/回

研修医の役割 ファーストタッチを担い、指導医とともに救急外来から病棟入院までの対応を行う。

指導医からのフィードバック 救急現場での検査や診察の在り方、どの程度治療が必要か、また、その後の経過や当直時の対応の反省点などの指導を受ける。

当直で身に付く手技・知識 外傷の処置、救急外来としての検査の在り方、静脈ルート確保、CPRの実践など。

当直体制	指導医2名、研修医2名
当直回数(月平均)	4回
当直時の患者数	15人程度
当直手当	25,000円/回

研修医の役割 救急当番日の副当直として勤務。全てファーストタッチを行う。必ず内科系医師1名、外科系医師1名、管理当直医1名の3名がバックアップする。

指導医からのフィードバック 指導医より適宜診断や治療方針のディスカッションを実施。注意すべきポイントについても指導します。

当直で身に付く手技・知識 基本的疾患の初期対応。外科的手技、CPRの実施など。

山口ではじめる、

My Medical Story.



自分を信じて、歩き出そう!

専門研修 プログラム

山口県には、**8**つの基幹施設によって、
特色ある**31**の専門研修プログラムが設置されています。

将来の地域医療の担い手となる若手医師のキャリア形成を
「オール山口」でサポートしていきます。

山口県の多彩なプログラムへ是非参加してみてください。

CONTENTS 23 各プログラム基幹施設における身分および処遇

♡ 内科

- | | | |
|----|--------------|----------------------------|
| 24 | 山口大学医学部附属病院 | 内科専門研修プログラム |
| 26 | 岩国医療センター | 岩国医療センター内科専門研修プログラム |
| 27 | 総合病院 山口赤十字病院 | 総合病院山口赤十字病院
内科専門研修プログラム |

♡ 小児科

- | | | |
|----|-------------|----------------------|
| 28 | 山口大学医学部附属病院 | 山口大学(病院)小児科専門研修プログラム |
|----|-------------|----------------------|

♡ 皮膚科

- | | | |
|----|-------------|----------------------|
| 29 | 山口大学医学部附属病院 | 山口大学医学部皮膚科専門医研修プログラム |
|----|-------------|----------------------|

♡ 精神科

- | | | |
|----|----------------|-------------------------------------|
| 30 | 山口大学医学部附属病院 | 精神科領域専門医研修プログラム |
| 31 | 山口県立こころの医療センター | 山口県立こころの医療センター連携施設
精神科専門医研修プログラム |

♡ 外科

- | | | |
|----|-------------|-----------------|
| 32 | 山口大学医学部附属病院 | 山口大学外科専門研修プログラム |
|----|-------------|-----------------|

♡ 整形外科

- | | | |
|----|-------------|-------------------|
| 33 | 山口大学医学部附属病院 | 整形外科専門研修プログラム |
| 34 | 山口労災病院 | 山口県整形外科 専門研修プログラム |

♡ 産婦人科

- | | | |
|----|--------------|-------------------|
| 35 | 山口大学医学部附属病院 | 山口大学産婦人科専門研修プログラム |
| 36 | 山口県立総合医療センター | 産婦人科専門研修プログラム |

♡ 眼 科

37 山口大学医学部附属病院 山口大学眼科専門研修プログラム

♡ 耳 鼻 咽 喉 科

38 山口大学医学部附属病院 山口大学医学部附属病院
耳鼻咽喉科・頭頸部外科専門研修プログラム

♡ 泌 尿 器 科

39 山口大学医学部附属病院 山口県泌尿器科専門研修プログラム

♡ 脳 神 経 外 科

40 山口大学医学部附属病院 脳神経外科専門研修
山口大学医学部附属病院プログラム

♡ 放 射 線 科

41 山口大学医学部附属病院 山口大学放射線科専門研修プログラム

♡ 麻 酔 科

42 山口大学医学部附属病院 山口大学医学部附属病院麻酔科専門研修プログラム
43 山口県立総合医療センター 麻酔科専門医研修プログラム

♡ 病 理

44 山口大学医学部附属病院 山口県・山口大学医学部病理専門研修プログラム

♡ 臨 床 検 査

45 山口大学医学部附属病院 山口大学臨床検査専門研修プログラム

♡ 救 急 科

46 山口大学医学部附属病院 山口大学救急科専門いしんプログラム
47 徳山中央病院 徳山中央病院救急科研修プログラム
48 山口県立総合医療センター 山口県立総合医療センター救急科
救急科専門研修プログラム

♡ 形 成 外 科

49 山口大学医学部附属病院 山口大学形成外科研修プログラム

♡ リハビリテーション科

50 山口大学医学部附属病院 山口大学リハ研修プログラム

♡ 総 合 診 療

51 山口大学医学部附属病院 山口大学総合診療専門研修プログラム
52 岩国医療センター 岩国医療センター総合診療科専門研修プログラム
53 徳山中央病院 徳山中央病院総合診療専門研修プログラム
54 山口県立総合医療センター 長州総合診療プログラム
55 下関医療センター ふくふくプログラム

身分および処遇

ここでは各プログラム基幹施設における、
専攻医の身分および処遇を掲載します。

山口大学医学部附属病院

職 名	医師
身 分	山口大学医学部附属病院採用職員：診療助教 関連病院採用職員：関連病院によって呼称は異なります。
勤務形態	診療助教：4日／週（週あたり31時間／勤務日以外の兼業可） ※先進救急医療センター、集中治療部、総合周産期母子医療センター勤務の場合は、週5日38時間45分勤務の変形労働時間制・交代制勤務あり。※育児のための短時間勤務制度あり。
給与（手当）	山口大学医学部附属病院採用職員：本学就業規則による。（週4日勤務の場合：平均約45万円／月（宿直手当、通勤手当等含む）関連病院採用職員：関連病院における就業規則による。
賞 与	なし
休 暇	国立大学法人山口大学非常勤職員の勤務時間、休暇等に関する規則に基づく
宿 舎	なし
社会保険等	健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険適用
サポート体制	院内保育所あり、育児のための時短勤務あり

岩国医療センター

職 名	レジデント（1～2年目）、医師（3年目）
身 分	期間職員（1～2年目）、常勤職員（3年目）
勤務形態	5日／週（期間 週あたり35時間、常勤 週あたり38.75時間）
給与（手当）	平均約60万円（期間）、平均約110万円（常勤） ※宿直手当、通勤手当等を含む
賞 与	年約72,000円（期間）、年約110万円（常勤）
休 暇	年次有給休暇20日、 リフレッシュ休暇3日
宿 舎	あり
社会保険等	健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険適用
サポート体制	保育園あり、夜間保育あり（毎週水曜日）、病児保育あり。

徳山中央病院

職 名	医師
身 分	正職員
勤務形態	5日／週（週あたり38、75時間／勤務日以外の兼業可）
給与（手当）	3年目：約60万円、4年目：約61万円、 5年目：約62万円（宿日直手当等は別途支給）
賞 与	前年度実績4.3ヵ月分
休 暇	年次有給休暇20日間、夏期休暇3日
宿 舎	なし（住居手当あり）
社会保険等	健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険適用
サポート体制	保育園あり、夜間保育・病児保育あり

山口県立総合医療センター

職 名	レジデント
身 分	有期常勤職員
勤務形態	5日／週（週あたり38時間45分／兼業可）
給与（手当）	約50万円（宿直手当、通勤手当、時間外勤務手当は別途支給）
賞 与	なし
休 暇	年次有給休暇20日間、夏期休暇4日
宿 舎	あり
社会保険等	健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険適用（2年目から共済組合に加入）
サポート体制	保育園あり、夜間保育・病児保育あり。



休日は、仲間と登山でリフレッシュ！

山口赤十字病院

職 名	医師
身 分	正職員
勤務形態	5日／週（週あたり38時間45分）
給与（手当）	平均約50万円（宿直手当、通勤手当等含まず）
賞 与	あり
休 暇	年次有給休暇24日間
宿 舎	なし
社会保険等	健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険適用
サポート体制	保育園あり、夜間保育あり。

山口労災病院

職 名	専攻医
身 分	常勤嘱託職員（3・4年目は正規職員）
勤務形態	5日／週あたり（40時間）、宿日直 月3回程度
給与（手当）	1年目：45万円、2年目：50万円（嘱託） 3年目：65万2千円、4年目：66万5千円（正規） ※時間外手当、宿日直手当等は別途支給
賞 与	（1・2年目）年15万3千円、（3・4年目）3.57ヵ月分
休 暇	週休2日制、年次有給休暇、特別休暇（忌引・夏季休暇等）
宿 舎	あり
社会保険等	健康・厚生年金保険、企業型確定拠出年金、労災保険、雇用保険
サポート体制	保育園、病児保育あり、育児のための時短勤務あり

山口県立こころの医療センター

職 名	研修医
身 分	有期常勤職員
勤務形態	5日／週程度（週あたり38時間45分／兼業可）
給与（手当）	平均約70万円（宿直手当、時間外手当、通勤手当等含む）
賞 与	なし
休 暇	年次有給休暇20日間、夏期休暇4日
宿 舎	なし
社会保険等	健康保険（2年目から共済組合に加入）、厚生年金、 労災保険、雇用保険適用
サポート体制	中学就学までの子の看護休暇あり

下関医療センター

職 名	医師
身 分	常勤職員
勤務形態	5日／週（週あたり38.75時間／勤務日以外の兼業可）
給与（手当）	62万5千円（日当直手当等別）
賞 与	年約150万円
休 暇	年次有給休暇20日間、夏期休暇3日
宿 舎	あり
社会保険等	健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険、 医師賠償責任保険
サポート体制	保育園あり、夜間保育あり

山口大学医学部附属病院

内科専門研修プログラム

山口大学医学部附属病院の内科専門研修では、第一内科(消化器)、第二内科(循環器、腎、膠原病)、第三内科(内分泌・代謝、血液)、脳神経内科、呼吸器・感染症内科(呼吸器、感染症、アレルギー)の内科診療科の他、総合診療部、先進救急医療センターが連携して、優れた内科医を育成するための研修環境を整備しています。



第一内科▶



▲第二内科



▲第三内科



▲呼吸器・感染症内科



▲脳神経内科

取得可能なサブスペシャリティ

- 消化器専門医
- 肝臓専門医
- 循環器専門医
- 腎臓専門医
- リウマチ専門医
- 血液専門医
- 内分泌代謝・糖尿病内科専門医
- 神経内科専門医
- 呼吸器専門医
- アレルギー専門医
- 感染症専門医 その他

研修週間スケジュール例

	午 前	午 後	セミナー等
月	外来研修 検査	病棟研修 検査	
火	症例 カンファレンス	教授回診	症例検討会
水	病棟研修 検査	病棟研修 検査	
木	(特別)連携施設 地域医療研修	(特別)連携施設 地域医療研修	
金	病棟研修 検査	病棟研修 検査	

研修施設一覧

- 【 岩 国 】 ・岩国医療センター
- 【 柳 井 】 ・周東総合病院
- 【 周 南 】 ・徳山中央病院
- 【 山口・防府 】 ・山口県立総合医療センター
・済生会山口総合病院
・山口赤十字病院
- 【 宇部・小野田 】 ・山口労災病院
・宇部中央病院
・山口宇部医療センター
・宇部協立病院
- 【 下 関 】 ・下関医療センター
・関門医療センター
・済生会下関総合病院
・下関市立市民病院
- 【 長 門 】 ・長門総合病院
- 【 萩 】 ・萩市民病院
- 【 県 外 】 ・小倉記念病院
・愛媛労災病院
・島根県立中央病院
・浜田医療センター
・産業医科大学病院

研修スケジュール例

内科基本コース

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	A分野		B分野		C分野		D分野		E分野		F分野	
2年目	G分野		H分野		総合診療部		先進救急医療センター			A分野(自由選択)		
3年目	A分野			I分野		J分野		B分野		A分野		

サブスペシャルティ専門分野1年重点研修コース

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	B分野				C分野		D分野		E分野		F分野	
2年目	G分野		H分野		I分野		J分野		A分野		B分野	
3年目	不足分野		B分野									

サブスペシャルティ専門分野並行研修コース

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	C分野				D分野	E分野	F分野	G分野	H分野	I分野	A分野	B分野
	内科研修		サブスペ研修		内科研修							
2年目	不足分野		不足分野を随時研修									
	内科研修		C分野(サブスペシャルティ分野を中心とした内科全般の研修)									
3年目	不足症例を随時研修											
	C分野(サブスペシャルティ分野を主に研修)											

内科・サブスペシャルティ専門分野混合研修コース

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	不足分野を随時研修											
	D分野(サブスペシャルティ研修を中心とした内科全般の研修)											
2年目	不足分野を随時研修											
	D分野(サブスペシャルティ研修を中心とした内科全般の研修)											
3年目	不足分野を随時研修											
	D分野(主にサブスペシャルティ研修)											
4年目	不足分野を随時研修											
	D分野(主にサブスペシャルティ研修)											

プログラムに関する問い合わせ先

医療人育成センター

- 電話/0836-22-2129
- Eメール/me209@yamaguchi-u.ac.jp

第三内科

- 電話/0836-22-2251
- Eメール/sannai@yamaguchi-u.ac.jp

総合診療部

- 電話/0836-22-2686
- Eメール/general@yamaguchi-u.ac.jp

第一内科

- 電話/0836-22-2243
- Eメール/naika1_w@yamaguchi-u.ac.jp

脳神経内科

- 電話/0836-22-2714
- Eメール/neuro@yamaguchi-u.ac.jp

先進救急医療センター

- 電話/0836-22-2656
- Eメール/amec3@yamaguchi-u.ac.jp

第二内科

- 電話/0836-22-2248
- Eメール/ninai@yamaguchi-u.ac.jp

呼吸器・感染症内科

- 電話/0836-85-3123
- Eメール/kokyuki@yamaguchi-u.ac.jp

岩国医療センター

岩国医療センター内科専門研修プログラム

当院は山口県東部、約20万人の診療圏唯一の基幹病院で、年間約15,000人の救急患者、年間5,200台の救急車を受け入れており、多種多様な症例を経験できます。「手を動かせる医者」を育てるべく、多くの手技・処置を指導します。スペシャルコースでは内科専門医取得と、より早いサブスペシャリティのキャリア構築を両立できるように、またジェネラルコースでは「米国で家庭医になりたい」「専門医をとって早く開業したい」「在宅医療専門医になりたい」といった多様なニーズに合わせて研修内容をカスタマイズして、皆さんの夢を応援します。



取得可能なサブスペシャリティ

- 消化器内視鏡専門医
- 循環器専門医
- 消化器病専門医
- 呼吸器専門医

研修スケジュール例

岩国スペシャルコース (ISコース) 循環器内科

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	循環器内科				呼吸器内科・消化器内科			循環器内科・不足分野				
	岩国医療センター(基幹施設)											
2年目	心不全班に所属し重症心不全診療に携わる						血液内科・神経内科症例を研修し、症例登録完了					
	国立循環器病センター(連携施設)研修						連携施設(広島西医療センター)研修					
3年目	循環器内科研修 病歴要約完成させる						循環器内科 臨床スキルアップに専念する					
	岩国医療センター(基幹施設)											

岩国ジェネラルコース (IGコース) 内科専門医をとって開業したい、というニーズに合わせてカスタマイズしたスケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	救急科			呼吸器			循環器			総合内科		
	岩国医療センター(基幹施設)											
2年目	神経内科			血液・アレルギー			腎臓・代謝・内分泌			膠原病・類縁疾患 症例登録完了		
	広島市民病院(関連施設)						倉敷中央病院(連携施設)					
3年目	不足分野 病歴要約完成			自由選択(外科研修、放射線科研)			自由選択					
	岩国医療センター(基幹施設)											

研修週間スケジュール例 ISコース循環器内科

	午前	午後	セミナー等
月	心臓カテーテル検査、アブレーション	循環器救急	病棟カンファ
火	外来	心臓カテーテル検査、ペースメーカー植え込み	ハートチームカンファ(心臓血管外科・麻酔科・循環器内科合同)
水	循環器救急	循環器救急	シネカンファ
木	心臓カテーテル検査	心エコー検査	内科医局会 循環器内科勉強会
金	シンチ	内科救急	循環器内科抄読会

*空いた時間に病棟業務

研修施設一覧

- 【柳井】・柳井医療センター
 【山口・防府】・山口赤十字病院
 【宇部・小野田】・山口大学附属病院
 【県外】・国立循環器病センター
 ・岡山大学附属病院
 ・島根大学附属病院
 ・福岡大学附属病院
 ・四国がんセンター・広島市民病院
 ・広島西医療センター・福山医療センター
 ・岡山医療センター・岡山赤十字病院
 ・倉敷中央病院・岡山市民病院
 ・倉敷成人病センター
 ・南岡山医療センター・中国中央病院

プログラムに関する問い合わせ先

- 担当部署/管理課
- 担当者/白石 彩夏
- 電話/0827-34-1000
- Eメール/513-sy01@mail.hosp.go.jp

総合病院 山口赤十字病院

総合病院山口赤十字病院内科専門研修プログラム

当プログラムは、「Subspecialtyを見据え、地域連携にも取り組み、患者さんの信頼を得られる内科専門医の育成」～豊富な症例に恵まれ、各診療科の密な連携による指導のもと、総合力の高い内科専門医からさらにSubspecialtyへと、切れ目のない専門研修～をスローガンとした内科専攻医育成を行う。



取得可能なサブスペシャリティ

- 総合内科専門医
- 呼吸器専門医
- 消化器病専門医
- リウマチ専門医
- 消化器内視鏡専門医
- 糖尿病専門医
- 腎臓専門医

研修スケジュール例

YGコース(山口赤十字病院総合内科コース)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	総合内科				消化器		呼吸器		循環器		腎臓代謝	
	山口赤十字病院(基幹施設)											
2年目	救急内科		神経内科		内分泌・代謝		神経内科			血液・アレルギー		
	九州大学病院(関連施設)											
3年目	膠原病・類縁疾患			腎臓・代謝・内分泌			不足分野			自由選択		
	山口赤十字病院(基幹施設)											

YSコース(山口赤十字病院専門分野選択コース)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	消化器			呼吸器			循環器			総合内科		
	山口赤十字病院(基幹施設)											
2年目	神経内科			アレルギー			腎臓・代謝・内分泌			膠原病・類縁疾患		
	山口赤十字病院(基幹施設)											
3年目	総合内科			不足分野			消化器					
	九州大学病院(関連施設)						九州医療センター(関連施設)					

研修週間スケジュール例

	午 前	午 後	セミナー等
月	外来	透析	
火	病棟	病棟	抄読会
水	病棟	透析	
木	外来	救外	病棟カンファ
金	病棟	手術	内科合同カンファ

研修施設一覧

- 【 岩 国 】 ・独立行政法人国立病院機構岩国医療センター
- 【 下 関 】 ・下関市立市民病院
- 【 県 外 】 ・九州大学病院
- ・九州医療センター
- ・浜の町病院
- ・JCHO九州病院
- ・松山赤十字病院
- ・飯塚病院
- ・福岡大学病院
- ・久留米大学病院

プログラムに関する問い合わせ先

- 担当部署／総合病院 山口赤十字病院
呼吸器内科
- 担当者／國近 尚美
- 電話／083-923-0111
- Eメール／n-kunichika.ya@yamaguchi-med.jrc.or.jp

山口大学医学部附属病院

山口大学(病院)小児科専門研修プログラム

成長・発達過程にある小児では、年齢による多様な疾患と臨床像があり、小児科医師には幅広い知識と経験が求められます。本プログラムでは、3年間で偏りのない研修を行い、「子どもの総合診療医」「育児・健康支援者」「子どもの代弁者」「学識・研究者」「医療のプロフェッショナル」の5つの資質を備えた優れた小児科専門医を育成します。



取得可能なサブスペシャリティ

- アレルギー専門医
- 小児循環器専門医
- 血液専門医
- 小児神経専門医
- 周産期専門医(新生児)
- てんかん専門医
- 小児血液・がん専門医
- リウマチ専門医 など

研修スケジュール例

- ① 総合臨床研修コース ③ 集中治療コース ⑤ 感染症重点コース
② 成長発達コース ④ 産業医コース

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月									
1年目	感染・アレルギー・膠原病・血液・腫瘍			腎臓・消化器・内分泌・代謝		神経		循環器		新生児集中治療室(NICU)											
	山口大学医学部附属病院																				
2年目	小児科一般、新生児集中治療																				
	済生会下関総合病院、山口県立総合医療センター、徳山中央病院、山口赤十字病院のいずれか (小児新生児成長発達コースは岩国医療センター)																				
3年目	小児科一般(小児新生児集中治療コースは、小児科一般及び新生児集中治療)																				
	連携施設、済生会下関総合病院、山口県立総合医療センター、徳山中央病院、山口赤十字病院、あるいは山口大学病院 (小児新生児集中治療コースは九州病院、あるいは山口大学病院)																				

研修週間スケジュール例

	午 前	午 後	セミナー等
月	学生指導 外来業務 病棟業務 チーム回診	病棟業務	
火	学生指導 外来業務 病棟業務 チーム回診	症例検討会、 回診、医局会	抄読会、 データカンファレンス
水	学生指導 外来業務 病棟業務 チーム回診	病棟業務	
木	学生指導 外来業務 病棟業務 チーム回診	病棟業務	研究会等
金	学生指導 外来業務 病棟業務 チーム回診	回診	診療グループ別 カンファレンス

研修施設一覧

- 【 岩 国 】 ・岩国医療センター
・岩国市医療センター医師会病院
- 【 周 南 】 ・徳山中央病院
・鼓ヶ浦こども医療福祉センター
- 【 山口・防府 】 ・山口県立総合医療センター
・山口赤十字病院
- 【 宇部・小野田 】 ・山口宇部医療センター
・山口労災病院
- 【 下 関 】 ・済生会下関総合病院
・済生会豊浦病院
・関門医療センター
- 【 長 門 】 ・長門総合病院
- 【 萩 】 ・萩市民病院
- 【 県 外 】 ・九州病院
・産業医科大学病院
・川崎医科大学附属病院

プログラムに関する問い合わせ先

- 担当部署／山口大学医学部小児科
- 電話／0836-22-2258
- Eメール／shouni@yamaguchi-u.ac.jp

山口大学医学部附属病院

山口大学医学部皮膚科専門医研修プログラム

山口大学医学部附属病院の皮膚科専門医研修では、すべての皮膚疾患に幅広く対応できるように皮膚科専門医を育成するための研修環境を整備しております。皮膚科専門医取得後は皮膚悪性腫瘍指導専門医、美容皮膚科・レーザー指導専門医の取得も可能です。



取得可能なサブスペシャリティ

- 皮膚悪性腫瘍指導専門医
- 美容皮膚科・レーザー指導専門医

研修スケジュール例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	外来担当医の補助、処置係、病棟業務および手術業務を通じて、皮膚科の基礎知識と技能を習得する。 山口大学医学部附属病院（皮膚科専門医研修基幹施設）											
2年目	外来・病棟業務を通じて皮膚科領域のcommon diseaseの診療経験を多数積む。 山口県立総合医療センター、徳山中央病院、山口赤十字病院（皮膚科専門医研修連携施設）											
3年目	外来・病棟業務などを通じ、より応用的な知識と技能を習得する。3年目から外来を担当する可能性あり。 山口大学医学部附属病院、関連病院勤務もしくは大学院生											
4年目	外来・病棟業務などを通じ、皮膚科の診療能力をさらに高める。 山口大学医学部附属病院、関連病院勤務もしくは大学院生											
5年目	外来・病棟業務などを通じ、難治性皮膚疾患も含めて幅広く経験する。冬に専門医試験を受験する。 山口大学医学部附属病院、関連病院勤務もしくは大学院生											

研修週間スケジュール例

	午 前	午 後	セミナー等
月	外 勤	病棟業務、回診	病棟カンファレンス
火	外来処置、手術	病棟業務	
水	外 勤	病棟業務、手術	病理カンファレンス
木	外来処置	病棟業務	
金	外来処置	病棟業務、手術	

研修施設一覧

- 【柳井】・周東総合病院（準連携施設）
- 【周南】・徳山中央病院
- 【山口・防府】・山口県立総合医療センター
・山口赤十字病院
- 【下関】・下関市立市民病院（準連携施設）
- 【長門】・長門総合病院（準連携施設）
- 【県外】・九州大学病院
・産業医科大学病院

プログラムに関する問い合わせ先

- 担当部署／山口大学医学部附属病院
- 担当者／皮膚科学講座
- 電話／0836-22-2271
- Eメール／yshimo@yamaguchi-u.ac.jp

山口大学医学部附属病院

精神科領域専門医研修プログラム

当科では、初発例にくわえ、難治または診断困難な症例、身体合併症を有する精神科症例、児童の症例の治療を積極的に行っています。院内身体診療科との連携も密であり、器質性・症状性精神障害症例の紹介も多数あり、ほとんどの種類の精神疾患の診察が経験できます。病棟は開放病棟にくわえ、閉鎖病棟も有しており、また多職種で対応できる環境にあります。複数の指導医と専門医数名からなる3～4名の3つの臨床グループで入院治療を行っており、専攻医が担当する症例にはかならず指導医がつきマンツーマンで指導を行っています。そのうえで、毎週行われる臨床グループカンファレンス、全体カンファレンスを通じて、丁寧に精神科診療の基礎を学ぶことができます。専攻医終了後は、精神保健指定医や日本精神神経学会専門医資格を全員が取得しています。



取得可能なサブスペシャリティ

- 精神保健指定医
- 日本総合病院精神医学会専門医
- 日本精神神経学会専門医

研修スケジュール例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	山口大学医学部附属病院精神科神経科											
2年目	山口大学医学部附属病院精神科神経科							山口大学医学部附属病院精神科神経科/連携施設				
3年目	連携施設											

研修週間スケジュール例

	午 前	午 後	セミナー等
月	初診予診・陪席 リエゾン診療	多職種カンファレンス/ 全体カンファレンス	論文抄読会
火	初診予診・陪席 病棟業務	リエゾンカンファレンス/ 症例検討会	
水	初診予診・陪席 病棟業務	病棟業務	
木	初診予診・陪席 リエゾン診療	病棟業務	
金	初診予診・陪席 リエゾン診療	病棟業務	

研修施設一覧

- 【 柳 井 】 ・柳井病院
- 【 周 南 】 ・泉原病院 ・大田病院
- 【 山 口 ・ 防 府 】 ・小郡まきはら病院
・吉南病院 ・防府病院
・山口県立総合医療センター
- 【 宇 部 ・ 小 野 田 】 ・片倉病院 ・高嶺病院
・山口県立こころの医療センター
- 【 下 関 】 ・関門医療センター
・重本病院 ・下関病院
・長門一ノ宮病院
・下関病院附属地域診療クリニック
- 【 長 門 】 ・三隅病院
- 【 県 外 】 ・九州大学病院

プログラムに関する問い合わせ先

- 担当部署／山口大学医学部附属病院
- 担当者／高次脳機能病態学講座 松原敏郎
- 電話／0836-22-2255
- Eメール／seisin@yamaguchi-u.ac.jp

山口県立こころの医療センター

山口県立こころの医療センター連携施設 精神科専門医研修プログラム

基幹施設である山口県立こころの医療センターと県内の連携施設において、幅広い精神科臨床経験を経験するとともに、患者の地域生活を支える通院治療、多職種チーム医療の実践等を通じ、精神科専門医としての知識、技能を習得できる。山口大学医学部附属病院の精神科領域専門医研修プログラムと密接に連携して、豊富な症例経験を通じて良質な研修機会を提供する。



取得可能なサブスペシャリティ

- 精神科保健指定医
- 精神科専門医
- 老年精神医学会専門医

研修スケジュール例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	精神科医としての基本的な知識と姿勢を身につける。 山口県立こころの医療センター											
2年目	1年目の基礎的知識に加え、さらに専門領域（児童思春期、老年期、精神科薬物療法等）の研修プログラムを進める。 山口県立こころの医療センター											
3年目	精神科救急医療、司法精神医療、精神科リハビリテーション・地域精神医療などを幅広く経験し、 精神療法、薬物療法を主体とする治療手技、精神保健福祉法や社会資源についての知識と技術を深める。 連携施設											

研修週間スケジュール例

	午 前	午 後	セミナー等
月	外来診察	病棟業務	症例検討会
火	外来診察、予診、 回診（第1・3火）	デイケア、 病棟業務	入退院カンファレンス
水	外来診察	病棟業務	
木	外来診察	病棟業務	
金	外来診察	病棟業務	

研修施設一覧

- 【柳井】・柳井病院
- 【周南】・泉原病院
- 【山口・防府】・防府病院 ・小郡まきはら病院
・山口県立総合医療センター
・吉南病院
- 【宇部・小野田】・山口大学医学部附属病院
・片倉病院 ・高嶺病院
- 【下関】・国立病院機構関門医療センター
・重本病院 ・下関病院
・下関病院附属地域診療クリニック
・長門一ノ宮病院
- 【長門】・三隅病院

プログラムに関する問い合わせ先

- 担当部署／事務部
- 担当者／宗像 阿紀
- 電話／0836-58-2370
- Eメール／munakata.aki@ymghp.jp

山口大学医学部附属病院

山口大学外科専門研修プログラム

外科学とは、医の倫理を体得し、かつ、高度の外科専門知識と技術を修得した外科医を育成し、もって国民医療の向上に貢献することを目的としています。山口の地域性を鑑みると、外科医はグローバルな視点を保ち高度先進医療の開発に取り組むのは当然として、それを実践・発展させ、過不足なく地域医療へ還元させるのが重要な責務です。また山口大学医学部附属病院の使命として、高難度手術を施行できる外科医を育成するために教育の効率を重視し、講座間の壁をなくし共通のプログラムを作成しました。



第一外科
濱野 公一 教授



第二外科
永野 浩昭 教授

取得可能なサブスペシャリティ

- 心臓・血管外科専門医
- 消化器外科専門医
- 呼吸器外科専門医
- 乳腺専門医
- 小児外科専門医
(他施設連携要)

研修スケジュール例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	外科(専門医取得に必要な領域を研修) 原則として大学病院											
2年目	外科(専門医取得に必要な領域を研修) 大学病院もしくは関連病院											
3年目	外科(専門医取得に必要な領域を研修) 大学病院もしくは関連病院											

研修週間スケジュール例

	午 前	午 後	セミナー等
月	症例検討会 1外科教授回診・ 外来	手 術	
火	2外科教授回診・ 外来	手 術	肝臓合同 カンファレンス 循環器合同 カンファレンス
水	症例検討会 外来・手術	手 術	胆膵合同 カンファレンス 呼吸器合同 カンファレンス
木	外来・手術	手 術	消化器合同 カンファレンス
金	症例検討会 外来・手術	手 術	

プログラムに関する問い合わせ先

- | | |
|---|---|
| 器官病態外科学講座(第一外科)
● 担当者/竹本 圭宏
● 電話/0836-22-2261
● Eメール/
surg-1@yamaguchi-u.ac.jp | 消化器・腫瘍外科学講座(第二外科)
● 担当者/新藤 芳太郎
● 電話/0836-22-2264
● Eメール/
2geka-2@yamaguchi-u.ac.jp |
|---|---|

研修施設一覧

- | | |
|----------|---|
| 【柳井】 | ・周東総合病院 |
| 【周南】 | ・徳山中央病院
・新南陽市民病院
・光市立光総合病院 |
| 【山口・防府】 | ・済生会山口総合病院
・小郡第一総合病院
・山口県立総合医療センター
・三田尻病院
・佐々木外科病院
・阿知須共立病院
・阿知須同仁病院 |
| 【宇部・小野田】 | ・宇部中央病院
・山口労災病院
・山口宇部医療センター
・山陽小野田市民病院
・美祢市立病院
・宇部記念病院
・小野田赤十字病院
・セントヒル病院
・美祢市立美東病院 |
| 【下関】 | ・済生会下関総合病院
・下関医療センター
・関門医療センター
・済生会豊浦病院 |
| 【長門】 | ・長門総合病院
・岡田病院 |
| 【萩】 | ・都志見病院
・萩市民病院 |
| 【県外】 | ・小倉記念病院
・市立八幡浜総合病院 |

山口大学医学部附属病院

整形外科専門研修プログラム

初期臨床研修課程修了後、整形外科疾患の専門医の養成のために、臨床経験を提供し、日本整形外科学会専門医の資格を取得することを目的としています。山口大学医学部附属病院での研修に加えて、教育関連病院における研修を行い、実地に即した臨床研修ができるよう考慮します。



取得可能なサブスペシャリティ

- 手外科専門
- リウマチ専門医
- 脊椎脊髄外科専門医 etc

研修スケジュール例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	脊椎・脊髄、外傷・救急			上肢(肩・肘・手)			下肢(股・膝・足関節)			腫瘍		
2年目	地域主幹病院での研修											
3年目	地域連携病院での研修											
4年目	脊椎・脊髄、外傷・救急			上肢(肩・肘・手)			下肢(股・膝・足関節)			腫瘍		

研修週間スケジュール例

	午前	午後	セミナー等
月	外来手術	手術病棟業務	外傷カンファレンス 脊椎カンファレンス
火	教授回診 手術	手術病棟業務	リサーチカンファレンス 症例検討会
水	外来手術	手術病棟業務	関節カンファレンス
木	外来手術	手術病棟業務	モーニングカンファレンス 手外科/ 腫瘍カンファレンス
金	地域医療研修 (外勤)	地域医療研修 (外勤)	

研修施設一覧

- 【岩国】・岩国市医療センター医師会病院
- 【柳井】・周東総合病院
- 【周南】・徳山中央病院
・鼓ヶ浦こども医療福祉センター
・周南記念病院
・光市立光総合病院
- 【山口・防府】・山口県立総合医療センター
・済生会山口総合病院
・小郡第一総合病院
- 【宇部・小野田】・山陽小野田市民病院
・セントヒル病院
・山口労災病院
・宇部中央病院
・宇部協立病院
- 【下関】・関門医療センター
・済生会下関総合病院
- 【長門】・長門総合病院
- 【萩】・萩市民病院
- 【県外】・愛媛労災病院

プログラムに関する問い合わせ先

- 担当部署／整形外科科学講座
- 担当者／西田 周泰 ● 電話／0836-22-2268
- Eメール／nishida3@yamaguchi-u.ac.jp

山口労災病院

山口県整形外科 専門研修プログラム

初期臨床研修課程終了後、整形外科の専門医の養成のために研修を行い、日本整形外科学会専門医の資格を取得することを目的としています。山口労災病院での研修に加えて、教育関連病院も含めて、実地に即した研修ができるように考慮します。小児疾患の研修は鼓ヶ浦こども医療福祉センターとも協力して行います。専門研修が実り多いよう、山口大学他、関連病院とも協議します。



取得可能なサブスペシャリティ

- 脊椎脊髄外科指導医
- 手外科専門医
- リウマチ専門医



研修スケジュール例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	上肢・手			下 肢			外 傷			脊 椎		
	山口労災病院											
2年目	小 児	腫 瘍			上肢・手		リウマチ		脊 椎		スポーツ	
	山口大学医学部附属病院											
3年目	下 肢		外 傷		リハビリ		スポーツ	リウマチ	脊 椎	地 域		
	済生会山口総合病院				小郡第一総合病院				光市立光総合病院			
4年目	外 傷		リウマチ			脊 椎		上肢・手		スポーツ	地 域	
	宇部中央病院				徳山中央病院				セントヒル病院			

研修週間スケジュール例

	カンファレンス	午 前	午 後	カンファレンス
月	カンファレンス (8:00~8:15)	外来、手術	手術、 病棟業務	症例検討会 (17:30~)
火	8:15~ 回診	手術、 病棟業務	手術、 病棟業務	
水	8:15~	外来、手術	手術、 病棟業務	
木	カンファレンス (7:30~8:10)	手術、 病棟業務	手術、 病棟業務	セミナー (非定期)
金	8:15~	手術、 病棟業務	手術、 病棟業務	

研修施設一覧

- 【 岩 国 】 ・岩国市医療センター医師会病院
- 【 柳 井 】 ・周東総合病院
- 【 周 南 】 ・徳山中央病院
・光市立光総合病院
・鼓ヶ浦こども医療福祉センター
・周南記念病院
- 【 山口・防 府 】 ・済生会山口総合病院
・小郡第一総合病院
・山口県立総合医療センター
- 【 宇部・小野田 】 ・山口大学医学部附属病院
・宇部中央病院
・山陽小野田市民病院
・セントヒル病院
・宇部協立病院
- 【 下 関 】 ・済生会下関総合病院
・関門医療センター
- 【 長 門 】 ・長門総合病院
- 【 萩 】 ・都志見病院
・萩市民病院
- 【 県 外 】 ・産業医科大学病院

プログラムに関する問い合わせ先

- 担当部署／山口労災病院
- 担当者／藤 真太郎 ● 電話／0836-83-2881
- Eメール／s-toh@yamaguchih.johas.go.jp

山口大学医学部附属病院

山口大学産婦人科専門研修プログラム

山口大学医学部附属病院産婦人科研修プログラムでは、基幹施設である山口大学医学部附属病院において高度な医療に携わり標準治療ならびに先進的な医療を経験し学ぶとともに、地域医療を担う連携施設での研修を経て山口県の医療事情を理解し、地域の実情に合わせた実践的な医療も行えるように訓練され、山口県全域を支える人材を育成するための研修環境を整備しています。



取得可能なサブスペシャリティ

- 婦人科腫瘍専門医
- 生殖医療専門医
- 周産期専門医
- 女性ヘルスケア専門医

研修スケジュール例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	基幹施設(山口大学医学部附属病院)											
2年目	連携施設											
3年目	基幹施設(山口大学医学部附属病院)											

研修週間スケジュール例

	午 前	午 後	セミナー等
月	予診 手術	病棟業務 手術	
火	予診 病棟業務	教授回診	カンファレンス
水	教授外来 予診 手術	病棟業務 手術	
木	予診 病棟業務	病棟業務 手術	
金	予診 病棟業務	病棟業務	モーニング カンファレンス カンファレンス

研修施設一覧

- 【柳井】・周東総合病院
- 【周南】・徳山中央病院
- 【山口・防府】・山口県立総合医療センター
- 【宇部・小野田】・山陽小野田市民病院
- 【下関】・済生会下関総合病院
- 【長門】・長門総合病院
- 【県外】・庄原赤十字病院

プログラムに関する問い合わせ先

- 担当部署／産婦人科講座
- 担当者／梶邑 匠彌
- 電話／0836-22-2288
- Eメール／obgyn@yamaguchi-u.ac.jp

山口県立総合医療センター

産婦人科専門研修プログラム

当院を中心に連携8施設で専門研修施設群を構成している。基本的には当基幹施設と症例数が豊富な連携施設である3施設(済生会下関総合病院、徳山中央病院、山口大学医学部附属病院)から2施設を選択し、3年間ローテートすることで生殖医療、婦人科腫瘍、周産期、女性ヘルスケアの4領域を万遍なくかつ十分に研修することが(地域医療研修も含めて)可能となる。希望があればそれ以外の連携施設での研修も可能である。この3年間の研修で専攻医に必要とされる臨床経験件数は十分にクリアできる。専攻医は3年間で修了要件を満たし、ほとんどは専門医たる技能を習得したとの認定が見込まれるが、この間に病氣療養や産休などにより長期休職を余儀なくされる場合、育児のために労働時間が制限される場合には「復職支援コース」を設けており、個人の状況に合わせて研修内容を作成できる。さらに、専門医取得後にはサブスペシャリティ研修などの将来ビジョンも示されている。



取得可能なサブスペシャリティ

- 産婦人科専門医取得後、
当院では周産期(母体・胎児)専門医、
日本超音波医学会専門医、
日本生殖医学会専門医、
日本がん治療認定医機構がん治療認定医、
日本遺伝カウンセリング学会臨床遺伝専門医、日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医、
日本内分科学会専門医、日本女性医学会専門医の取得が可能

研修スケジュール例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	産婦人科基礎(正常妊娠・分娩・産褥や正常新生児の管理。ハイリスク妊娠・分娩。婦人科手術助手。一般生殖医療、生殖補助医療の適応と実践。外来診療(女性ヘルスケアを含む。)) 山口県立総合医療センター											
2年目	産婦人科応用(正常妊娠・分娩・産褥や正常新生児の管理。婦人科悪性腫瘍の診断・治療、腹腔鏡下手術助手と執刀。一般生殖医療。外来診療(女性ヘルスケアを含む。)) 山口大学医学部附属病院											
3年目	産婦人科応用(正常妊娠・分娩・産褥や正常新生児の管理。婦人科悪性腫瘍の診断・治療、一般生殖医療、生殖補助医療の適応と実践。外来診療(女性ヘルスケアを含む。)) 徳山中央病院											

研修週間スケジュール例

	午前	午後	セミナー等
月	婦人科手術	手術・病棟業務	抄読会
火	病棟業務	産科手術	悪性腫瘍カンファレンス
水	病棟業務	婦人科手術	術前後カンファレンス
木	外来	産科手術	周産期カンファレンス
金	病棟業務	婦人科手術	術前後カンファレンス

研修施設一覧

- 【柳井】・周東総合病院
- 【周南】・徳山中央病院
- 【宇部・小野田】・山口大学医学部附属病院
・山陽小野田市民病院
- 【下関】・済生会下関総合病院
・済生会豊浦病院
- 【長門】・長門総合病院
- 【県外】・浜田医療センター

プログラムに関する問い合わせ先

- 担当部署/山口県立総合医療センター 総務課
- 担当者/福重 若菜
- 電話/0835-22-4411
- Eメール/soumuka@ymghp.jp

山口大学医学部附属病院

山口大学眼科専門研修プログラム



山口大学医学部附属病院の眼科専門研修では、山口大学医学部附属病院および県内の研修施設が連携して、優れた眼科医を育成するための研修環境を整備しています。山口大学眼科専門研修プログラムでは、下記の眼科医の育成を目指します。

- ①一般眼科学に精通し、専門性の高い眼科治療にも対応できる眼科医
- ②総合病院で眼科医を担うために十分な診療技術を身につけ、将来地域で活躍できる眼科医
- ③科学的に思考する力を持ち、その成果を学会発表や論文作成を通じて世界に発信できる眼科医

取得可能なサブスペシャリティ

- 日本眼科学会専門医

研修スケジュール例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	角膜				緑内障				網膜硝子体			
	山口大学医学部附属病院											
2年目	一般眼科および眼科処置・手術											
	連携施設											
3年目	一般眼科および眼科処置・手術											
	連携施設											
4年目	角膜または緑内障または網膜硝子体											
	山口大学医学部附属病院											

研修週間スケジュール例

	午 前	午 後	セミナー等
月	手 術	手術 病棟業務	
火	術後診察 教授外来	教授回診	術前カンファレンス
水	外来業務	地域医療(外勤)	
木	外来業務 病棟業務	外来業務	
金	地域医療(外勤)	外来業務 病棟業務	

研修施設一覧

- 【 柳 井 】 ・周東総合病院
- 【 周 南 】 ・徳山中央病院
- 【 山 口・防 府 】 ・山口県立総合医療センター
・小郡第一総合病院
- 【 宇 部・小 野 田 】 ・宇部中央病院
- 【 下 関 】 ・下関市立豊田中央病院
・下関医療センター
・済生会下関総合病院
- 【 長 門 】 ・長門総合病院

プログラムに関する問い合わせ先

- 担当部署／
山口大学大学院医学系研究科眼科学
- 担当者／湧田 真紀子
- 電話／0836-22-2278
- Eメール／ym-op55@yamaguchi-u.ac.jp

山口大学医学部附属病院

山口大学医学部附属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科専門研修プログラム



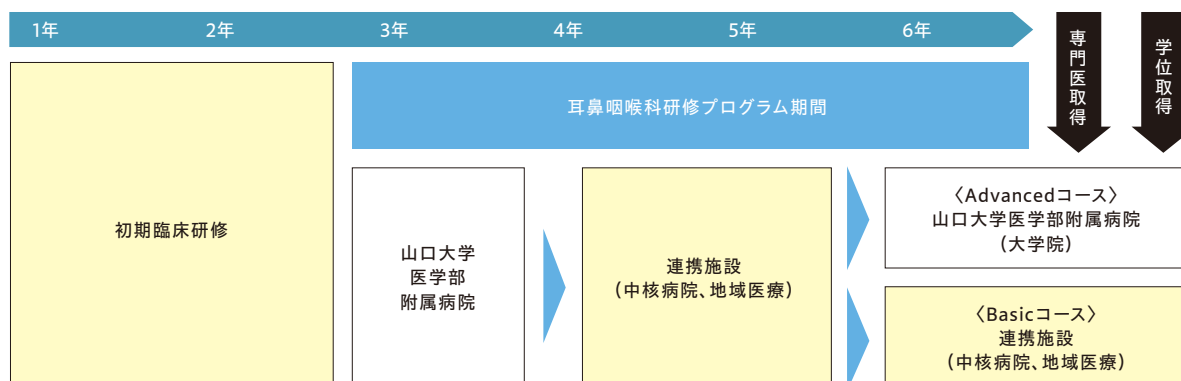
山口大学医学部附属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科専門研修プログラムでは、専門研修基幹施設である山口大学医学部附属病院と、地域の中核医療と、地域医療も担う連携施設（徳山中央病院、山口県立総合医療センター、関門医療センター、下関医療センター、宇部中央病院、済生会山口総合病院）、計7の研修施設において、それぞれの特徴を活かした耳鼻咽喉科研修を行い、日本耳鼻咽喉科学会が定めた研修到達目標や症例経験基準に掲げられた疾患や手術を経験します。

山口大学医学部附属病院は、耳科、鼻副鼻腔、口腔・咽喉頭、頭頸部腫瘍のすべての分野において、全国学会でも評価される高い臨床レベルにあり、偏りのないバランスのとれた研修を受けることが可能です。また、大学院（社会人大学院等）へ進学し、診療・研修を行いながら基礎研究や臨床研究を行う事も可能です。

取得可能なサブスペシャリティ

- 頭頸部がん専門医
- 気管食道科専門医
- 耳科手術指導医
- 鼻科手術指導医
- 耳科学会認定医
- 補聴器相談医
- めまい相談医 等

研修スケジュール例



研修週間スケジュール例

	午 前	午 後	セミナー等
月	外来 病棟業務	外来 病棟業務	カンファレンス
火	手術 外来業務	手術 病棟業務	医局会 抄読会
水	外来 手術 病棟業務	病棟業務 外来業務	カンファレンス
木	手術 外来業務	手術 病棟業務	
金	外来 病棟業務	外来 病棟業務	カンファレンス カルテ回診

研修施設一覧

- 【 周 南 】 ・徳山中央病院
- 【 山口・防府 】 ・山口県立総合医療センター
・済生会山口総合病院
- 【 宇部・小野田 】 ・宇部中央病院
- 【 下 関 】 ・下関医療センター
・関門医療センター

プログラムに関する問い合わせ先

- 担当部署／山口大学大学院医学系研究科
- 担当者／耳鼻咽喉科学講座
- 電話／0836-22-2281
- Eメール／ent@yamaguchi-u.ac.jp

山口大学医学部附属病院

山口県泌尿器科専門研修プログラム

山口大学医学部附属病院泌尿器科では、泌尿器科腫瘍を中心に、排尿障害、尿路感染症、結石、腎不全（透析、腎移植）、男性不妊症、小児泌尿器科、女性泌尿器科など幅広い分野を対象に診療しており、すべての尿路性器疾患に対応できる優れた泌尿器科医を育成するための研修環境を整備しています。腹腔鏡手術やロボット支援手術などの低侵襲手術の教育にも力を入れています。



取得可能なサブスペシャリティ

- 泌尿器科学会専門医
- 泌尿器内視鏡外科学会技術認定医
- 生殖医療専門医
- 腎移植認定医
- 小児泌尿器科認定医
- 透析医学会専門医
- がん治療認定医
- 性機能認定医
- 内分泌外科認定医 など

研修スケジュール例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	山口大学医学部附属病院											
2年目	関連病院（手術、急性期型）											
3年目	関連病院（手術、透析、慢性疾患型）											
4年目	山口大学医学部附属病院（専門医取得対策）											

研修週間スケジュール例

		午 前	午 後	セミナー等
月		外来・ 検査・透析	病棟チーム ミーティング	
火	手術 カンファ レンス	手術・ 病棟勤務・ 検査	病棟チーム ミーティング	月2回、 泌尿器画像カンファレンス （放射線科合同）
水	病棟 カンファ レンス	病棟勤務・ 検査	病棟チーム ミーティング	月1回、 カンサーボードミーティング （放射線治療部、 緩和ケアチーム合同）
木	ビデオ カンファレンス/ 抄読会	手術・ 病棟勤務・ 検査	病棟チーム ミーティング	ウェブセミナー/ 薬品説明会
金		手術・ 病棟勤務・ 検査	病棟チーム ミーティング	

研修施設一覧

- 【柳井】・周東総合病院
- 【周南】・徳山中央病院・徳山医師会病院
- 【山口・防府】・山口赤十字病院・済生会山口総合病院
・小郡第一総合病院
・山口県立総合医療センター
- 【宇部・小野田】・山口労災病院・山陽小野田市民病院
・厚南セントヒル病院・宇部中央病院
- 【下関】・関門医療センター・下関医療センター
・済生会下関総合病院
・下関市立市民病院
・済生会豊浦病院
- 【長門】・長門総合病院
- 【県外】・小倉記念病院
・益田赤十字病院

プログラムに関する問い合わせ先

- 担当部署/泌尿器科学講座
- 電話/0836-22-2275
- Eメール/surol@yamaguchi-u.ac.jp

山口大学医学部附属病院

脳神経外科専門研修山口大学医学部附属病院プログラム

「脳神経外科」は、脳卒中、頭部外傷、脳腫瘍、てんかん、パーキンソン病、先天性疾患、脊髄・脊椎・末梢神経疾患などを対象としています。「脳神経外科専門医」は、これらの予防・診断・手術・薬物／放射線治療・リハビリテーション・救急医療において総合的かつ専門的な知識と診療技術を持ち、適切な治療を行えることを要求されます。昭和41年発足の認定制度に基づき、初期臨床研修を含む6年間の定められた研修の後、認定試験を受験します。



取得可能なサブスペシャリティ

- 脳卒中専門医
- 血管内手術専門医
- てんかん専門医
- 脊髄外科専門医
- 頭痛専門医 etc



研修スケジュール例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	脳血管障害		脳腫瘍		神経外傷		機能外科		脊髄外科		小児外科	
2年目	感染症		神経外傷		機能外科		脳腫瘍			脳血管障害		
3年目	血管内手術			血管外科		血管内手術		血管外科手術				

研修週間スケジュール例

	午 前	午 後	セミナー等
月	入院報告会 手術	手術 病棟業務	
火	術前カンファレンス 外来業務	検査 病棟業務	抄読会 リサーチカンファレンス
水	手術	血管内手術	
木	地域医療研修 (外勤)	地域医療研修 (外勤)	
金	手術	手術 血管内手術	

研修施設一覧

- 【 柳 井 】・周東総合病院
- 【 周 南 】・徳山中央病院
- ・新南陽市民病院
- 【 山口・防府 】・済生会山口総合病院
- ・山口県立総合医療センター
- ・小郡第一総合病院
- 【 宇部・小野田 】・宇部西リハビリ病院
- ・宇部中央病院
- ・山口労災病院
- ・美祿市立病院
- ・セントヒル病院
- ・厚南セントヒル病院
- ・宇部リハビリ病院
- 【 下 関 】・関門医療センター
- ・済生会下関総合病院
- ・済生会豊浦病院
- 【 長 門 】・岡田病院
- 【 萩 】・都志見病院
- 【 県 外 】・健和会大手町病院
- ・嶺井第一病院
- ・東京慈恵会医大
- ・愛知医科大学病院
- ・聖マリア病院
- ・大手町リハビリ病院
- ・秋田県立循環器・脳脊髄センター
- ・神戸市立医療センター中央市民病院
- ・町田脳神経外科

プログラムに関する問い合わせ先

- 担当部署／山口大学医学部附属病院脳神経外科講座
- 担当者／野村 貞宏 ● 電話／0836-22-2295
- Eメール／snomura@yamaguchi-u.ac.jp

山口大学医学部附属病院

山口大学放射線科専門研修プログラム

山口大学医学部附属病院の放射線科領域専門研修では、超音波、X線撮影、CT、MRIおよび核医学検査などを利用する画像診断、画像診断を応用したインターベンショナルラジオロジー（IVR）、および放射線を利用した種々の疾患の放射線治療を行うことができる優れた放射線科医を育成するための研修環境を整備しています。



取得可能なサブスペシャリティ

- 放射線診断専門医
- 放射線治療専門医
- 日本IVR学会専門医
- 核医学専門医
- PET核医学認定医
- 検診マンモグラフィ読影認定医
- 肺がんCT検診認定医など多数の資格を得ることができます。

研修スケジュール例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	画像診断・IVR・放射線治療											
2年目	画像診断・IVR(診断コース)／放射線治療(治療コース)											
3年目	画像診断・IVR(診断コース)／放射線治療(治療コース)											

研修週間スケジュール例

	午前	午後	セミナー等
月	外来	MRI	IVR／頭頸部 癌治療 カンファレンス
火	CT	IVR	泌尿器 カンファレンス
水	治療	治療	呼吸器／心臓／ 腹部／泌尿器疾患治療 カンファレンス
木	核医学	IVR	
金	外来	CT	

研修施設一覧

- 【柳井】・周東総合病院
- 【周南】・徳山中央病院
- 【山口・防府】・山口県立総合医療センター
・済生会山口総合病院
- 【宇部・小野田】・宇部中央病院
・山口宇部医療センター
- 【下関】・下関市立市民病院
・済生会下関総合病院
・関門医療センター
- 【長門】・長門総合病院
- 【萩】・萩市民病院
- 【県外】・福岡青洲会病院

プログラムに関する問い合わせ先

- 担当部署／山口大学医学部附属病院
- 担当者／放射線医学講座
- 電話／0836-22-2285
- Eメール／radiants@yamaguchi-u.ac.jp
- 担当部署／山口大学医学部附属病院
- 担当者／放射線腫瘍学講座
- 電話／0836-22-2966
- Eメール／h-tanaka@yamaguchi-u.ac.jp

山口大学医学部附属病院

山口大学医学部附属病院麻酔科専門研修プログラム

山口大学医学部附属病院の麻酔科専門研修では、周術期の患者の麻酔管理を中心としながら、集中治療における生体管理・治療、種々の疾病および術後の痛みのコントロール、緩和医療などの領域において、患者の命を守り、安全で快適な医療を提供できる麻酔科専門医を育成するための研修環境を整備しています。また症例報告や医学研究を通じて、リサーチマインドを形成できるよう指導体制も充実しています。



取得可能なサブスペシャリティ

- 集中治療専門医
(心臓血管麻酔専門医、ペインクリニック専門医など)

研修スケジュール例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	手術麻酔(基本的手術の習得、合併症の少ない患者の麻酔管理)											
2年目	手術麻酔(合併症のある患者の麻酔管理、小児、帝王切開、脳神経外科などの特殊手術の麻酔管理)											
3年目	手術麻酔(複雑な手術の麻酔管理、心臓外科、呼吸器外科などの特殊手術の麻酔管理)											
4年目	サブスペシャリティを考慮した研修(集中治療、ペインクリニック、緩和ケア、心臓麻酔、小児・産科麻酔、神経麻酔)											

研修週間スケジュール例

	午 前	午 後	セミナー等
月	手術麻酔	手術麻酔	症例検討会
火	地域医療 研修	地域医療 研修	
水	手術麻酔	手術麻酔	抄読会
木	ICU・ Pain Clinic研修	ICU・ Pain Clinic研修	症例検討会
金	手術麻酔	手術麻酔	Pain Clinic カンファレンス

研修施設一覧

- 【 柳 井 】 ・周東総合病院
- 【 周 南 】 ・徳山中央病院
・光市立光総合病院
- 【 山口・防府 】 ・山口県立総合医療センター
・済生会山口総合病院
・山口赤十字病院
・小郡第一総合病院
- 【 宇部・小野田 】 ・山口労災病院
・山陽小野田市民病院
・宇部中央病院
- 【 下 関 】 ・済生会下関総合病院
・関門医療センター
・下関市立市民病院
・下関医療センター
- 【 県 外 】 ・小倉記念病院
・倉敷中央病院
・東京都立神経病院
・愛媛労災病院
・福岡市立こども病院

プログラムに関する問い合わせ先

- 担当部署／麻酔・蘇生学講座
- 担当者／教育主任 山下 敦生
- 電話／0836-22-2291
- Eメール／ymst2699@yamaguchi-u.ac.jp

山口県立総合医療センター

麻酔科専門医研修プログラム

後期研修1年目から当院麻酔科で研修を開始するものは、麻酔専攻医として登録し、4年間の研修プログラムを開始する。当院に関連研修施設として研修する専攻医は、原則として6ヶ月以上の研修を行う。研修期間中に集中治療医学を学べるよう、ICU専従期間を設ける。

専攻医4年目には、麻酔リーダーとして手術室全体の手術の流れを調整することを学び、他の診療科医師や看護師、コ・メディカルとのコミュニケーションスキルを身につける。



取得可能なサブスペシャリティ

- 集中治療専門医
- ペインクリニック専門医
- 小児麻酔認定医
- 心臓血管麻酔専門医

研修スケジュール例

1年目	専門研修基礎 手術麻酔(基本的手技の習得、低リスク患者の麻酔管理)	
	山口県立総合医療センター	
2年目	専門研修基礎 手術麻酔(特殊手術の麻酔管理)、ICU・ペインクリニック研修	
	山口県立総合医療センター、山口大学医学部附属病院	
3年目	専門研修練達 手術麻酔(複雑な手術の麻酔管理、心臓外科、呼吸器外科などの特殊手術の麻酔管理)	
	山口県立総合医療センター、山口大学医学部附属病院	
4年目	サブスペシャリティ研修1	サブスペシャリティ研修2
	サブスペシャリティ研修施設1	サブスペシャリティ研修施設2

研修週間スケジュール例

	午 前	午 後	セミナー等
月	麻酔業務	麻酔業務	症例カンファレンス
火	ICU業務	麻酔業務	症例カンファレンス
水	麻酔業務	麻酔業務	症例カンファレンス
木	ICU業務	麻酔業務	症例カンファレンス
金	抄読会、麻酔	麻酔業務	症例カンファレンス

研修施設一覧

- 【 柳 井 】 ・周東総合病院
- 【 周 南 】 ・徳山中央病院 ・光市立光総合病院
- 【 山 口・防 府 】 ・小郡第一総合病院
- ・済生会山口総合病院
- ・総合病院山口赤十字病院
- 【 宇 部・小 野 田 】 ・山口大学医学部附属病院
- ・山口労災病院
- ・山陽小野田市民病院
- ・宇部興産株式会社中央病院
- 【 下 関 】 ・下関市立市民病院
- ・関門医療センター
- ・下関医療センター
- ・山口県済生会下関総合病院
- 【 県 外 】 ・倉敷中央病院 ・愛媛労災病院
- ・小倉記念病院 ・東京都立神経病院

プログラムに関する問い合わせ先

- 担当部署／山口県立総合医療センター 総務課
- 担当者／福重 若菜
- 電話／0835-22-4411
- Eメール／soumuka@ymghp.jp

山口大学医学部附属病院

山口県・山口大学医学部病理専門研修プログラム

このプログラムの目的は優秀な病理医を育てることと、あなた自身の夢の実現を応援をすることです。私たちの考える優秀な病理医とは、世界基準の病理診断能力、高いコミュニケーション能力、旺盛な研究意欲、高い倫理観を合わせもつ人間です。症例豊富な附属病院病理診断科が、ユニークな研究を展開する2つ病理学講座、及び、個性ある連携施設(24病院)と協力し、目的を達成します。



取得可能なサブスペシャリティ

- 細胞診専門医

研修スケジュール例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	山口大学医学部附属病院にて、組織診・細胞診・剖検の基礎的診断技能の研修、及び、医療安全講習会や医療倫理講習会の受講。											
2年目	連携施設にて、剖検(CPC含む)とやや専門的な病理診断および基本的な細胞診の研修を主な目的とする。剖検講習会を受講し、また、死体解剖資格を取得する。											
3年目	山口大学医学部附属病院にて(必要に応じて連携施設にて)、剖検(CPC含む)と専門的な病理診断・細胞診の研修を主な目的とする。3年次終了までに細胞診講習会、分子病理講習会、医療関連感染症講習会など、専門医試験受験資格として必要な講習会を受講。											

研修週間スケジュール例

	午 前	午 後	セミナー等
月	組織・細胞診断 標本切り出し	指導医チェック	神経病理 カンファレンス
火	組織・細胞診断 標本切り出し	指導医チェック・ 解剖切り出し	病理抄読会・ 肝がんサワーボード
水	組織・細胞診断 標本切り出し	指導医チェック	CPC・肺等の がんサワーボード
木	組織・細胞診断 標本切り出し	指導医チェック	研究検討会
金	組織・細胞診断 標本切り出し 地域医療研修	指導医チェック・ 地域医療研修	消化管・乳腺 がんサワーボード

>> 研修施設一覧

【 周 南 】・徳山中央病院
 【 山 口 ・ 防 府 】・山口県立総合医療センター
 【 宇 部 ・ 小 野 田 】・山口宇部医療センター
 【 下 関 】・下関医療センター
 ・済生会下関総合病院
 ・関門医療センター
 【 県 外 】・益田赤十字病院
 その他、17連携施設(全て県内)

プログラムに関する問い合わせ先

- 担当部署／病理形態学講座
電話／0836-22-2220
- 担当部署／病理診断科
電話／0836-22-2424
- 担当部署／分子病理学講座
電話／0836-22-2222

山口大学医学部附属病院

山口大学臨床検査専門研修プログラム

本研修プログラムでは、臨床検査医学総論、一般臨床検査学・臨床化学、臨床血液学、臨床微生物学、臨床免疫学・輸血学、遺伝子関連検査学、臨床生理学の基本7科目の研修を行います。山口大学医学部附属病院で、すべての研修を行います。



取得可能なサブスペシャリティ

- 臨床遺伝専門医

研修スケジュール例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	血液検査				一般検査				生化学検査			
2年目	微生物検査				生理機能検査							
3年目	遺伝子検査							輸血検査				

研修週間スケジュール例

	午 前	午 後	セミナー等
月	検査業務	検査業務	
火	検査業務	検査業務	
水	検査業務	検査業務	カンファレンス
木	検査業務	検査業務	
金	検査業務	検査業務	抄読会

研修施設一覧

山口大学単独で研修実施

プログラムに関する問い合わせ先

- 担当部署／臨床検査・腫瘍学講座
- 電話／0836-22-2337
- Eメール／rinken@yamaguchi-u.ac.jp

山口大学医学部附属病院

山口大学救急科専門いしんプログラム

山口大学医学部附属病院の救急科専門研修では、救急車で搬送された患者のファーストタッチから集中治療に至るまで一連の救急医療をチームの一員として行えるようになります。また、災害医療(DMAT)やドクターカー/ドクターヘリなどの病院前救護も学べるようにプログラムを準備しています。ICLS/JA-TEC/JPT-EC/MCLSなどのシュミレーションコースにも参加できます。Walk-in患者の診療(ER診療)や地域医療は山口県内外の病院で研修することができます。

基幹施設に指導医が8人いる極めて指導体制の整った状況です。



取得可能なサブスペシャリティ

- 集中治療専門医

研修スケジュール例

	1年目	2年目	3年目
コース1	基幹施設(山口大学医学部附属病院、クリティカルケア)		A 基幹施設
コース2	基幹施設(山口大学医学部附属病院)	連携B	基幹施設(山口大学医学部附属病院)
コース3	C	基幹施設(山口大学医学部附属病院、クリティカルケア)	
コース4	基幹施設	D	基幹施設(山口大学医学部附属病院、クリティカルケア)
コース5	基幹施設(山口大学医学部附属病院)		連携B施設(ER・地域医療)

研修週間スケジュール例

	開始時刻	月	火	水	木	金	土/日
午前	8:00			抄読会			
	8:30	入院・外来・ドクターカー/ヘリ全症例カンファレンス					
	9:30	センター入室患者ラウンド					
午後	11:00			教授回診			
	11:45	救急初療担当/主治医/ドクヘリ当番/夜勤/休みのうちのいずれか		クリニカルカンファレンスなど	救急初療担当/主治医/ドクヘリ当番/夜勤/休みのうちのいずれか		
	13:30 (第3週)			救急事例検討会	【夜勤】18:30～申し送りとラウンド		
	17:30 (年3回)	【夜勤】18:30～申し送りとラウンド		ドクターヘリスタッフ会議			
	17:30 (第4週)			リサーチ・ミーティング			

研修施設一覧

- 【岩 国】・岩国医療センター
- 【周 南】・徳山中央病院
- 【山 口・防 府】・山口県立総合医療センター
- 【宇部・小野田】・山口労災病院
- 【下 関】・関門医療センター
- 【県 外】・福山市民病院
- ・横浜労災病院
- ・聖路加国際病院

プログラムに関する問い合わせ先

- 担当部署/山口大学医学部附属病院 救急医学講座
- 担当者/藤田 基
- 電話/0836-22-2343
- Eメール/motoki99@yamaguchi-u.ac.jp

独立行政法人
地域医療機能推進機構

徳山中央病院

徳山中央病院救急科研修プログラム

地域の基幹病院として1次から3次まであらゆる救急患者を受け入れており、幅広い対応能力を身に付けることができます。近隣の病院、消防機関との連携も円滑に行われており、精神科救急や地域包括ケア、メディカルコントロールについても学ぶことができます。災害拠点病院として災害時医療にも力をいれているので、各種訓練や講習会にも参加できます。



取得可能なサブスペシャリティ

- 集中治療専門医

研修スケジュール例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	ER・救命センター研修						他科研修					
	徳山中央病院											
2年目	集中治療研修											
	徳山中央病院／山口大学医学部附属病院／産業医科大学病院											
3年目	ER・救命センター研修											
	徳山中央病院											

研修週間スケジュール例

	午 前	午 後	セミナー等
月	外来/病棟業務	外来/病棟業務	
火	外来/病棟業務	外来/病棟業務	抄読会
水	外来/病棟業務	外来/病棟業務	カンファレンス
木	外来/病棟業務	外来/病棟業務	
金	外来/病棟業務	外来/病棟業務	

研修施設一覧

【宇部・小野田】・山口大学医学部附属病院
【 県 外 】・産業医科大学病院

プログラムに関する問い合わせ先

- 担当部署／独立行政法人地域医療機能推進機構
徳山中央病院 救急科
- 担当者／清水 弘毅
- 電話／0834-28-4411
- Eメール／main@tokuyama.jcho.go.jp

山口県立総合医療センター

山口県立総合医療センター救急科救急科専門研修プログラム

救急医療では医学的緊急性への対応が重要であります。しかし、救急患者が生じた段階では緊急性や罹患臓器は不明なため、いずれの緊急性にも対応できる救急科専門医が必要になります。救急科専門医は救急搬送患者を中心に診療を行い、疾病、外傷、中毒など原因や罹患臓器の種類に関わらず、すべての緊急病態に対応することができます。国民にとってこのような能力をそなえた医師の存在が重要になります。本研修プログラムの目的は、「国民に良質で安心な標準的医療を提供できる」救急科専門医を育成することです。



研修スケジュール例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	山口県立総合医療センター(基幹研修施設救命救急センター)で12か月間、救急当番(日勤または夜勤)や重症患者を担当し、救急患者の診断と治療、家族への説明、他科との連携を学びます。											
	県立総合医療センター											
2年目	山口県立総合医療センター(基幹研修施設救命救急センター)で12か月間、または連携病院で6~12か月間研修し、救急・集中治療の実績をつみます。											
	県立総合医療センター、山口大学附属病院											
3年目	山口県立総合医療センター(基幹研修施設救命救急センター)で12か月間、または連携病院で6~12か月間研修し、さらなる救急・集中治療の研鑽をつみます。											
	県立総合医療センター、徳山中央病院											

研修週間スケジュール例

	午 前	午 後	セミナー等
月			
火			
水	ER当番 もしくは 病棟 (一般棟、HCU、ICU)	ER当番 もしくは 病棟 (一般棟、HCU、ICU)	午前:入院・外来患者 カンファレンス
木			
金			

>> 研修施設一覧

【 周 南 】・徳山中央病院
【 宇部・小野田 】・山口大学医学部附属病院

プログラムに関する問い合わせ先

- 担当部署／山口県立総合医療センター
総務課
- 担当者／福重 若菜
- 電話／0835-22-4411
- Eメール／soumuka@ymghp.jp

山口大学医学部附属病院

山口大学形成外科研修プログラム

山口大学形成外科研修プログラムは県内唯一の形成外科専門研修プログラムです。山口県は長らく形成外科不毛の土地であったため県内研修病院は少ないですが、神戸大学や福岡大学と相互連携を組むことにより、大規模な連携病院プログラム群を形成することができました。形成外科は対象疾患が多岐に渡る診療科ですが、県内に施設が少ない分大学に症例が集中している傾向があります。通常市中病院で経験できるような良性腫瘍や外傷など一般形成外科症例が豊富で、皮膚悪性腫瘍やマイクロサージャリーを用いた再建外科など大学病院ならではの治療も得意としています。当院だけで専門医取得に十分な症例を経験することが可能であり、また少人数であるがゆえ執刀の機会も大変多いことが特徴です。



取得可能なサブスペシャリティ

- 皮膚腫瘍外科分野指導医
- 再建・マイクロサージャリー分野指導医
- 創傷外科専門医

研修スケジュール例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	一般的な医師としての基本的診療能力、および形成外科の基本的知識と基本的技能の修得 治療法の検討(複数の手術法)、基本的治療手技(局所麻酔、外用療法、病変部の固定方法、創傷の処置方法)など 山口大学医学部附属病院											
2年目	形成外科の手術を中心とした治療手技の修得 1) 外傷、2) 先天異常、3) 腫瘍、4) 瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド、5) 難治性潰瘍、6) 炎症・変性疾患 などについての基本的な手術手技 山口大学医学部附属病院											
3年目	マイクロサージャリーや顔面骨折(鼻骨、頬骨、眼窩)などより高度な技術を要する手術手技を習得 学会発表や論文作成を行うための基本的知識の獲得 山口県立総合医療センター											
4年目	3年目までの研修事項をより深く理解し、自分自身が主体となって治療を行う 他科医師との症例の問題点や治療方法に関してディスカッションする能力の修得。リハビリテーション、装具、創傷ケアに関して他職種医療従事者との連携 山口大学医学部附属病院											

研修週間スケジュール例

	午 前	午 後	セミナー等
月	外勤	手術	カンファレンス
火	外来・病棟	手術	病理カンファレンス
水	外来・病棟	手術	
木	外勤	手術	
金	手術		

研修施設一覧

- 【 山 口 ・ 防 府 】 山口県立総合医療センター
 【 県 外 】 神戸大学病院
 ・ 兵庫県立加古川医療センター
 ・ 神戸市立西神戸医療センター
 ・ 兵庫県立西宮病院
 ・ 兵庫県立はりま姫路総合医療センター
 ・ 兵庫県立淡路医療センター
 ・ 加古川中央市民病院
 ・ 宝塚市立病院・北播磨総合医療センター
 ・ 福岡大学病院・白十字病院
 ・ 福岡市立こども病院

プログラムに関する問い合わせ先

- 担当部署／形成外科
- 担当者／高須 啓之
- 電話／0836-22-2270
- Eメール／htkasu@yamaguchi-u.ac.jp

山口大学医学部附属病院

山口大学リハ研修プログラム

日本国内では世界で最もすんだ超高齢化社会の到来、医療の高度化などに伴い、リハビリテーションの対象となる疾患・障害はますます増加し、ニーズは飛躍的に高まっています。本研修プログラムは、基幹施設である山口大学医学部附属病院において、多くの難治疾患を研修することが可能です。一方で、地方大学のプログラムの特徴として、小児から高齢者まで、急性期から生活期までの患者を生涯にわたってサポートし、地域医療を守る医師であるリハビリテーション科専門医となる点で、都市部のみでの研修プログラムより利点があります。



研修スケジュール例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	脳血管障害・外傷性脳損傷、外傷性脊髄損傷、運動器疾患・外傷、小児疾患、神経筋疾患、切断 山口大学医学部附属病院											
2年目	脳血管障害・外傷性脳損傷、外傷性脊髄損傷、運動器疾患・外傷、小児疾患、神経筋疾患、切断、 内部障害、その他(廃用症候群・がん) 山口県立総合医療センター											
3年目	回復期リハビリテーション病棟 周南記念病院								小児疾患、神経筋疾患 鼓ヶ浦こども医療福祉センター			

研修週間スケジュール例

	午 前	午 後	セミナー等
月	外来業務	病棟業務	
火	教授回診	症例検討会	
水	病棟業務	病棟業務	学内セミナー
木	外来業務	カンファレンス 検査、抄読会	学内セミナー
金	病棟業務	病棟業務	

研修施設一覧

連携施設A

- 【周 南】・鼓ヶ浦こども医療福祉センター
・周南記念病院
・徳山中央病院
- 【山口・防府】・山口県立総合医療センター
・小郡第一総合病院
- 【宇部・小野田】・山口労災病院
- 【県 外】・八女リハビリ病院

連携施設B

- 【山口・防府】・防府リハビリテーション病院
- 【宇部・小野田】・宇部リハビリテーション病院

プログラムに関する問い合わせ先

- 担当部署／整形外科科学講座
- 担当者／油形 公則
- 電話／0836-22-2268
- Eメール／kyukata@yamaguchi-u.ac.jp

山口大学医学部附属病院

山口大学総合診療専門研修プログラム

総合診療プログラムでは、診療所・在宅医療や中小規模病院(100-400床)で地域住民の疾患管理や予防医療、健康増進を行うことのできるジェネラリストを育成します。研修期間は診療所と病院の総合診療研修を併せて1年6ヶ月、内科6ヶ月、救急科3ヶ月、小児科3ヶ月に加えて、約1年間は医療資源の乏しい地域で総合診療の実践を行います。研修期間中は総合診療のコア能力となる「患者中心の医療」、「多職種連携」、「地域のヘルスプロモーション」などを実践しポートフォリオに記載します。内科研修はJ-OSlerを活用し、規定の症例数を経験します。地域の健康管理を行うため皮膚科、泌尿器科、婦人科、精神科疾患など内科の枠組みをこえた研修を行うことが特徴となっています。国内外の総合診療医と交流をしながら研修を進めていきます。



取得可能なサブスペシャリティ

- 新・家庭医療専門医(日本プライマリ・ケア連合学会)
- 病院総合診療医(日本病院総合診療医学会)
- 在宅医療専門医(日本在宅医療連合学会)
- 緩和医療認定医(日本緩和医療学会)

研修スケジュール例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	総合診療専門研修Ⅱ(病院総合診療):6ヶ月						内科研修:6ヶ月					
2年目	救急科:3ヶ月			小児科:3ヶ月			緩和ケア研修または総合診療専門研修Ⅰ,Ⅱ:6ヶ月					
3年目	総合診療専門研修Ⅰ(在宅・診療所):12ヶ月											

研修週間スケジュール例

	午前	午後	セミナー等
月	一般外来研修	訪問診療	学会発表準備
火	一般外来研修	訪問診療	介護認定審査会
水	一般外来研修	訪問診療	地域住民への健康講座
木	病棟外来研修	救急初期対応	総合診療勉強会
金	一般外来研修	思春期外来	論文作成準備

プログラムに関する問い合わせ先

- 担当部署/山口大学医学部附属病院
- 担当者/総合診療部
- 電話/0836-22-2686
- Eメール/general@yamaguchi-u.ac.jp

研修施設一覧

総合診療専門研修I

- 【岩国】・いしいケア・クリニック・岩国市立美和病院
- 【柳井】・光輝病院・周防大島町立大島病院
・周防大島町立東和病院
- 【宇部・小野田】・宇部協立病院・生協小野田診療所
・波乗りクリニック・美祢市立病院
- 【下関】・下関市立豊田中央病院
- 【長門】・斎木病院
- 【萩】・わたぬきクリニック
- 【県外】・あおばクリニック

総合診療専門研修II

- 【柳井】・周東総合病院
- 【周南】・徳山中央病院
- 【山口・防府】・山口県立総合医療センター
- 【宇部・小野田】・宇部中央病院・美祢市立病院
- 【下関】・関門医療センター
- 【県外】・済生会福岡総合病院・飯塚病院

内科

- 【岩国】・岩国医療センター 内科
- 【柳井】・周東総合病院 内科
- 【山口・防府】・山口県立総合医療センター 内科
- 【宇部・小野田】・山口大学医学部附属病院 内科
・宇部中央病院 内科・山口宇部医療センター 内科
・山口労災病院 内科
- 【下関】・関門医療センター 内科
- 【県外】・飯塚病院 内科

小児科

- 【山口・防府】・山口県立総合医療センター 小児科
- 【宇部・小野田】・山口大学医学部附属病院 小児科
- 【県外】・飯塚病院 小児科

救急科

- 【山口・防府】・山口県立総合医療センター 救急科
- 【宇部・小野田】・山口大学医学部附属病院 先進救急医療センター
・山口労災病院 救急科
- 【県外】・飯塚病院 救急部

岩国医療センター

岩国医療センター総合診療科専門研修プログラム

本プログラムは、病院、診療所などで活躍する高い診断・治療能力を持つ総合診療専門医を養成するために、ER型救急や急性期専門各科を有する地域拠点病院のなかで、専門各科と協働し全人的医療を展開しつつ、自らのキャリアパスの形成や地域医療に携わる実力を身につけていくことを目的としています。



取得可能なサブスペシャリティ

- 日本専門医機構で検討中

研修スケジュール例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内 科						小児科			救 急		
	岩国医療センター											
2年目	総合診療専門研修I						総合診療専門研修I					
	岩国市立錦中央医院						いしいケア・クリニック					
3年目	内 科						総合診療専門研修II					
	岩国医療センター											

研修週間スケジュール例

	午 前	午 後	セミナー等
月	病棟業務	総合内科外来	朝カンファ、症例カンファ
火	病棟業務	救急外来	朝カンファ
水	病棟業務	総合内科外来	朝カンファ、症例カンファ
木	病棟業務	総合内科外来	朝カンファ、症例カンファ
金	病棟業務	救急外来	朝カンファ

研修施設一覧

- 【 岩 国 】 ・いしいケア・クリニック
・岩国市立錦中央医院

プログラムに関する問い合わせ先

- 担当部署／管理課
- 担当者／白石 彩夏
- 電話／0827-34-1000
- Eメール／513-sy01@mail.hosp.go.jp

独立行政法人 徳山中央病院

地域医療機能推進機構

徳山中央病院総合診療専門研修プログラム

当院は病床数519床、背景人口25万人の周南地域最大の病院です。各専門診療科の症例数も県内有数で、現在初期研修医が30数名在籍しています。救急外来では各専門診療科のバックアップのもと、1次～3次救急すべてに対応しています。救急車受入れ台数は約4,700件、ウォークインの患者さんも多数おられファーストタッチの研修にも最適です。研修プログラムは下記のとおりです。

1年次：総合診療内科（総合研修II）、救急科にて研修。総合診療内科では初診外来、入院患者を担当し幅広い疾患の診断と治療を経験する。救急外来では1次～3次までの急患患者の初期対応ができるよう研修する。

2年次：小児科研修、連携施設で在宅医療を中心に総合診療研修Iを研修。

3年次：内科専門研修（循環器内科、消化器内科、血液・内分泌内科、神経内科から選択し6ヶ月研修）領域別選択研修（外科、整形外科、産婦人科、皮膚科、耳鼻科、緩和ケアから3つ選択、3ヶ月）、救急科（3ヶ月）研修する。



取得可能なサブスペシャリティ

- 日本専門医機構で検討中

研修スケジュール例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	総合診療研修II						内科(選択)・総合診療科					
	徳山中央病院											
2年目	小児科研修			領域別研修(選択)			総合診療研修I					
	徳山中央病院						いしいケアクリニック			東和病院		
3年目	内科(選択)						領域別研修(選択)			救急科		
	徳山中央病院											

研修週間スケジュール例

	午 前	午 後	セミナー等
月	病棟業務	総合診療外来	朝カンファレンス・症例カンファレンス
火	病棟業務	救急外来 (17:00～8:00)	朝カンファレンス
水	病棟業務	総合診療外来	朝カンファレンス・症例カンファレンス
木	病棟業務	総合診療外来	朝カンファレンス・症例カンファレンス
金	病棟業務	救急外来 (17:00～8:00)	朝カンファレンス

研修施設一覧

- 【岩 国】 ・いしいケア・クリニック
 【柳 井】 ・周防大島町立東和病院

プログラムに関する問い合わせ先

- 担当部署／独立行政法人
地域医療機能推進機構
徳山中央病院 救急科
- 担当者／清水 弘毅
- 電話／0834-28-4411
- Eメール／main@tokuyama.jcho.go.jp

山口県立総合医療センター

長州総合診療プログラム

主治医として患者さんに継続的に関わることで、主体性のある医師として大きく成長できます。基幹病院に加えて、へき地の医療機関で診療することで、医療資源の限られた環境であっても最善の医療を行う力を身につけることができます。専攻医ごとに1人の指導医がメンターを担当し、気軽に相談できる体制を取っています。へき地であっても、teamsなどWebを活用した振り返りを週1回定期的に行っており、診療などで困った場合には、24時間いつでも電話相談できる体制（ホットライン）で指導医陣がしっかりとサポートします。週1回の研修日が確保されており、特に関心のある分野の研修が可能です。オレゴン健康科学大学等での国内外短期研修の機会もあります。



取得可能なサブスペシャリティ

日本専門医機構で家庭医療専門医、在宅医療専門医、緩和医療専門医などが検討されています。また、ダブルボードの取得が認められ、短期間で内科専門医も取得できます。



研修スケジュール例

2ヶ月に1回ハーフデイバック 週1回webカンファ（レジデントデイ・コアレクチャー）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	救急科			小児科			内科			総合診療研修II		
	山口県立総合医療センター											
2年目	総合診療I											
	連携施設											
3年目	総合診療研修II			内科								
	連携施設											

研修週間スケジュール例

	午前	午後	セミナー等
月	外来	病棟・救急	外来カンファ
火	院外研修		
水	検査	病棟	Webカンファ
木	外来	訪問診療	
金	検査・健診	病棟	病棟カンファ

研修施設一覧

- 【岩国】・岩国市立美和病院
・岩国市立錦中央医院
- 【柳井】・周防大島町立東和病院
・周防大島町立大島病院
・周東総合病院
- 【宇部・小野田】・山口大学医学部附属病院
・宇部中央病院
・山口宇部医療センター
・美祢市立病院
・美祢市立美東病院
- 【下関】・下関市立豊田中央病院
- 【萩・長門】・萩市診療所群

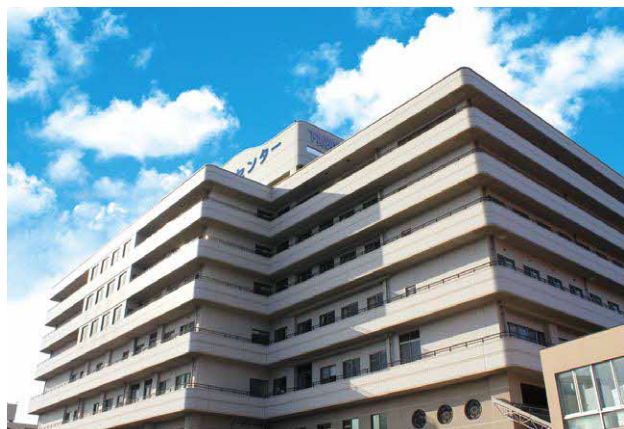
プログラムに関する問い合わせ先

- 担当部署／山口県立総合医療センター
へき地医療支援部
- 担当者／山口 喬子
- 電話／0835-22-4411
- Eメール／soumuka@ymghp.jp

下関医療センター

ふくふくプログラム

JCHO(独立行政法人地域医療機能推進機構)として、地域医療・包括ケアの要となる人材を育成し、地域住民の健康意識の向上に寄与するプログラム。下関の特産河豚から命名した。



取得可能なサブスペシャリティ

- 日本専門医機構で検討中

研修スケジュール例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	総診II						救急診療科			総診II		
	下関医療センター											
2年目	総診II			小児科			内 科					
	下関医療センター			徳山中央病院			下関医療センター					
3年目	内 科						総診I					
	下関医療センター						下関市立豊田中央病院					

研修週間スケジュール例

	午 前	午 後	セミナー等
月	総合内科外来	病棟業務・症例カンファ	
火	健診業務	病棟業務	
水	総合内科外来	救急外来	
木	病棟業務	救急外来	
金	総合内科外来	救急外来	専門講義

研修施設一覧

- 【 周 南 】・徳山中央病院
- 【 下 関 】・下関市立豊田中央病院

プログラムに関する問い合わせ先

- 担当部署／総務企画課
- 担当者／吉岡
- 電話／083-231-5811
- Eメール／soumu@shimonoseki.jcho.go.jp

山口県で 専門医になろう!



臨床研修から専門研修まで

一貫した研修のメリット!

山口県内の専門研修プログラムは、山口県内の臨床研修病院全てが協力関係にあるため、臨床研修から専門研修まで一貫して山口県内で研修すると、専門医取得のための症例経験を積みやすいという大きなメリットがあります!

メリット

01

内科と外科は、初期研修中に経験した症例も、専門研修の症例として登録することができます!

メリット

02

特に、内科や外科のサブスペシャリティ専門医の取得も目指している方は、初期研修での内科や外科経験数が多い程、3年目以降の研修スケジュールをやりたい分野を中心に研修することができます!

メリット

03

内科も外科も山口大学との連携があり、山口県内の臨床研修病院であれば、実績のある指導医の下で研修した症例を専門研修症例としてスムーズに登録できます!

詳細を知りたい方は、コチラまでお問い合わせ下さい!

山口大学医学部附属病院 医療人育成センター

〒755-8505 山口県宇部市南小串1-1-1 TEL: 0836-22-2129 FAX: 0836-22-2157
E-Mail: me209@yamaguchi-u.ac.jp

内科 の場合

臨床研修の必修科としての内科研修以外に、
選択科で幅広く内科分野を経験
しておくことをオススメします！

例えば将来消化器内科を志望している場合、1年目の研修スタート時と2年目の研修終了時に
消化器内科を経験することで、3年目からの専門研修にスムーズに繋げることができます！

臨床研修	1年目	内科(24週)					救急(12週)	産科 婦人科 (4週)	外科 (4週)	小児科 (4週)	精神科 (4週)
	2年目	内科(8週)	地域 医療 (4週)	外来 (4週)	外科 (4週)	放射 線科 (4週)	内科(28週)				
専門研修	1年目	消化器内科		血液・内分泌内科			呼吸器内科	循環器内科		神経内科	
	2年目	消化器内科(連携施設)									
	3年目	消化器内科		不足領域		消化器内科					

山口大学の内科専門研修プログラムでは、専攻医一人一人の初期研修中の経験を踏まえて、①3年間内科全体を研修するコース(内科基本コース)、②1年間専門分野を重点的に研修するコース(1年重点研修コース)、③2年間専門分野を重点的に研修するコース(並行研修コース)、④4年間で内科専門医とサブスペシャリティ専門医を取得するコース(混合研修コース)を選ぶことができます！

先輩の声

山中葉々美 先生



初期研修の最初からその後の進路を見据えた、柔軟なプログラムを組むことができます(他大学系列の病院にもタスキ掛けで研修に出ることが可能でした!)。また、市中病院・大学病院の良いところ取りができるため、J-OSLERが指定する非常に広範囲な内科全般症例を早い段階で経験し、獲得することができます。

外科 の場合

臨床研修期間では、外科医に必要な内科診療、救急診療、
麻酔科診療、小児診療、精神科診療などを幅広く経験した上で、
2年目の後半でできるだけ長く
外科手術に入ることをオススメします！

臨床研修	1年目	内科(24週)				救急(12週)	小児科(4週)	精神科(4週)	産科 婦人科(4週)	麻酔科(4週)
	2年目	麻酔科(8週)	地域医療(4週)	外来(4週)	外科(36週)					
専門研修	1年目	大学病院／外科(専門医取得に必要な領域を研修)								
	2年目	大学病院もしくは関連病院／外科(専門医取得に必要な領域を研修)								
	3年目	大学病院もしくは関連病院／外科(専門医取得に必要な領域を研修)								

山口大学の外科専門研修プログラムでは、初期研修の施設を自由に選択でき、3年目以降は第一外科・第二外科の両方で研修することが可能です。①3年目に入局して専門医を取得するコース(初期研修終了後入局コース)と②外科専門医取得後に入局するコース(外科専門医取得後入局コース)を選ぶことができます。

先輩の声

梅野紘希 先生



鳥取大学出身の梅野紘希です。初期研修を山口県内の関連病院で積むことで円滑に外科専門研修に繋げることができました。指導医の先生方が経験不足の症例について親身に考えてくださるので症例不足の心配がなく日々修練に励んでいます。

山口県は 医師・医学生の皆さんを バックアップします！

Back up

01

「やまぐちドクターネット」で
山口県の地域医療などの
情報をお届け！

まずは、やまぐち
ドクターネットへ登録



やまぐちドクターネット

検索



Yamaguchi Doctor Net

やまぐちドクターネット

<https://www.y-doctor.med.yamaguchi-u.ac.jp>



「やまぐちドクターネット」に登録して
頂いた方には、山口県の地域医療な
どの情報をお届けするほか、希望によ
り個別相談にも応じています。



メールマガジンで山口の取り組みを知れる！

隔月配信で、山口県内の病院情報から、県の取り組み、県内で活躍する先輩医師のインタビューまで、山口県の地域医療情報がまるごとわかるメルマガになっています!!



臨床研修・専門研修病院情報をゲットできる！

山口県内の15の臨床研修病院の情報や、専門研修病院の情報がまとまっているので、山口県内で病院をお探しの方は、まずはやまぐちドクターネットで！

各病院の臨床研修プログラムはもちろん、各臨床研修病院で組織する「山口県医師臨床研修推進センター」での取り組みも紹介しています。山口県での勤務がイメージできるよう、公的医療機関等の情報も掲載しています。また、新専門医制度の情報も発信していきますので、注目してください！

Back up

02

修学、就職、研修をサポート！

臨床・専門研修相談

希望者には、県内の公的医療機関等への就職や臨床研修、専門研修などの個別の相談にも応じています。お気軽にご相談ください。

医師修学資金

将来、県内で医師として地域医療に従事しようとする医学生に、修学資金の貸付を行う制度です。指定の公的医療機関等に一定期間従事することで、貸付金の返還が免除されます。

お問い合わせ先

山口県健康福祉部医療政策課

電話：083-933-2937 メール：a11700@pref.yamaguchi.lg.jp

Back up

03

山口県の特徴などを医学生へ 情報発信！

病院説明会への山口県ブース出展！

山口県では、レジナビやeレジフェアといった病院説明会へブースを出展しています。各病院のブースでは、初期研修医や指導医などと直接話をするができます。

●今後の病院説明会出展予定

2025年 6月29日(日)

レジナビフェア東京

ほか出展予定 ※出展予定は変更となる場合があります

県内臨床研修・専門研修 合同説明会 inやまぐちの開催！

医学生・研修医に向けて臨床研修から専門医取得まで魅力あるキャリア形成プランを提示する県内臨床研修・専門研修合同説明会を開催します！

●令和7年度の開催予定

2025年 7月4日(金)

臨床研修合同説明会

山口大学医学部
医心館1階食堂

2025年 8月30日(土)

専門研修合同説明会

かめ福 オンプレイス

※開催予定は変更となる場合があります

じわじわ沼る山口県



特産 山口みかん

派手さはないけれど、じわじわハマる不思議な魅力。
そんな“沼ポイント”が山口県にはあちこちに。

バリバリ
食感が
やみつきに

萌え断サンドが
SNSで
バズってます!

ジュウ
ジュウ音が
たまらん!



②「**ぱりそば**」(山口市)
山口県内で長い間愛されている
ご当地グルメ!



①「**クムクムサンド**」(宇都市)
ボリューム満点のサンドイッチは、
具だくさんで見た目もカラフル!

#食べ沼



山口県は実は
ソフト天国!

③ **瓦そば**(川棚温泉・下関市)

アツアツの瓦で食べる茶そばは、
新感覚グルメとして話題沸騰中!

#山賊体験



④ **いろり山賊**
(岩国市)

まるでテーマパーク! 名物「山賊焼」と
巨大おむすびの迫りに圧倒される!



⑤ **唐戸市場**(下関市)

新鮮な握り寿司をその場で購入!
寿司バイキング状態



⑥ **ソフトクリーム巡り**(県内各地)

夏みかん・しそ・わさびなど、変わり種
も多く、食べ歩きが止まらない!

山口県と
いえばふぐ!

データで見る
山口県

～暮らしやすい山口県～

家賃が安い!

全国
第8位

全国平均
4,191円



首都圏
6,310円



山口県
3,535円



民営賃貸住宅の家賃 (1か月3.3㎡当たり) 出展 小売物価統計調査 (動向編) (総務省)

ストレスオフ県

全国
第1位

「ストレスオフ県ランキング 2020」において、
山口県が男性第2位、女性第3位となり
男女総合ランキングで第1位に輝きました!!

調査機関: 一般社団法人ストレスオフ・アライアンス、合同会社エンディアン 全国
10万人の男女(20~69歳の男女各5万人)を対象とした「ココロの体力測定」調査
に基づく。出展: <https://mediplus-lab.jp/contents/detail/9036/>

14「山口県人の気質」

人がよい
気さくな人が多い
面倒見がいい

気づけば、頼れる人がそばにいる。
山口の一番の沼ポイントは、
“人” かもしれません

13 角島大橋(下関市)

青い海に真っ直ぐ
延びる橋は「#角島大橋」
で映え投稿多数!

#映え沼

トウクトウク
ドライブで
レア体験!

11 秋吉台(美祿市)

日本とは思えないカルストの大地。どこまでも広がる
緑の丘に、深呼吸したくなる気持ちよさです。

赤い鳥居が
123基並ぶ
圧巻の風景。

12 元乃隅神社(長門市)

海と鳥居のコントラストが神秘的で、
思わず何枚も撮っちゃう。

スナメリの
癒し笑顔

LOVE

のんびり
散歩♪

7 海響館(下関市)

関門海峡の魚たちと目が合う、
癒しと驚きの水中世界。

#癒し沼

10 錦帯橋(岩国市)

五連のアーチが美しい、日本三名橋のひとつ。

8 湯田温泉(山口市)

白狐伝説の残る湯処。温泉街で
食べ歩き&足湯のループにハマる!

とろ〜り湯に
心までほぐれる♡

9 萩の城下町と着物体験(萩市)

レトロな町並み+着物でタイムスリップ。
写真映え抜群、歴史も学べる!

地震が少ない!

全国
第3位

山口県の震度別地震回数

(令和5年(2023年)3月31日現在)

震度	1	2	3	4	5	6	7	合計
回数	603	245	84	29	7	0	0	968

※気象庁「震度データベース」をもとに作成

■山口県における大正8年(1919年)以降の震度別地震回数

台風被害が少ない!

平成3年(1991年)~令和5年(2023年)の上陸・接近回数

	回数	接近	うち上陸
本土	191	5.8	3.0
山口県	54	1.6	0.4

※気象庁HP「気象統計情報」、下関地方気象台HP「山口県に接近・通過した台風の記録」をもとに作成

平成3年(1991年)~令和5年(2023年)の地域別年間平均接近回数

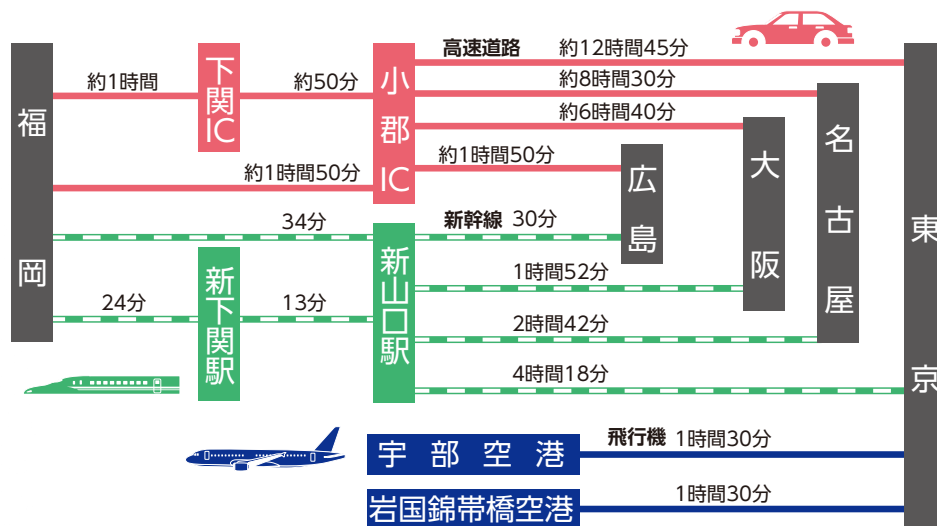
地域	平均接近回数
北海道	1.8
東北	2.6
関東甲信	3.2
北陸	2.8
東海	3.4
近畿	3.2
中国	3.0
四国	3.2
九州北部	3.7
九州南部	3.7
山口県	1.6

(気象庁HP「台風の統計資料」、下関地方気象台HP「山口県に接近・通過した台風の記録」をもとに作成)

YAMAGUCHI MAP



主要都市からの アクセス



山口県健康福祉部医療政策課

〒753-8501 山口県山口市滝町1番1号

TEL 083-933-2937

E-mail a11700@pref.yamaguchi.lg.jp

山口県医師臨床研修推進センター

〒753-0814 山口県山口市吉敷下東3丁目1-1 山口県医師会内

TEL 083-922-2510

E-mail info@yamaguchi.med.or.jp



山口県PR本部長「ちよる」
©山口県

<https://www.y-doctor.med.yamaguchi-u.ac.jp>

やまぐちドクターネット

検索

